

# 新 歯科衛生士校内模擬試験②

## 解答・解説

©医歯薬出版株式会社

—解答・解説の見方—

解説の記載は基本的に①問題に対する総論的解説、②選択肢ごとの○×、③各選択肢の解説という構成になっています。ただし、設問の性質その他によって上記の一部を記載していない問題もあります。

選択肢については内容が正しい肢に○、誤っている肢に×を付しています。

<注意>

選択肢の○×は内容主体に付されています。

正しい選択肢を問う問題については内容の正しい選択肢に○、誤っている選択肢に×を付しています。

一方、誤っている選択肢を問う問題についても内容が正しい選択肢に○、誤っている選択肢に×を付しています。

ex.

〔正しい選択肢を問う問題の場合〕

問 魚類について正しいのはどれか。 a 光合成を行う。 b えら呼吸を行う。 c 羽毛がある。 d 胎生である。	→	解答 b a × 光合成を行うのは植物の性質である。 b ○ c × 羽毛があるのは鳥類である。 d × 胎生は哺乳類の特徴である。
--	---	--

〔誤っている選択肢を問う問題の場合〕

問 魚類について誤っているのはどれか。 a えら呼吸を行う。 b 水中を移動する。 c 光合成を行う。 d 卵を産む。	→	解答 c a ○ b ○ c × 光合成を行うのは植物の性質である。 d ○
---	---	--

正解であるcに“×”が付きます

解答・解説

人体（歯・口腔を含む）の構造と機能

- 1 解答：b**  
 消化管のような中空器官では、その壁は粘膜、筋層、漿膜または外膜の3層構造をもつ。粘膜は内腔表面から粘膜上皮（口腔から食道と直腸下部は重層扁平上皮、それ以外の分泌吸収が行われる胃・腸は単層円柱上皮で覆われている）、粘膜固有層、粘膜筋板、粘膜下組織からなる。筋層は内輪外縦する2層の平滑筋よりなる（食道の上部は横紋筋よりなり、中部では横紋筋と平滑筋が混在する）。最外層は漿膜または外膜で覆われる。  
 a ×  
 b ○  
 c ×  
 d ×  
**文献：最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 87**
- 2 解答：a、b**  
 舌筋には内舌筋と外舌筋がある。内舌筋には上縦舌筋、下縦舌筋、横舌筋、垂直舌筋があり、舌の形を変える働きをする。外舌筋にはオトガイ舌筋、舌骨舌筋、茎突舌筋があり、舌の位置を変える働きをする。  
 a ○  
 b ○  
 c ×  
 d ×  
**文献：最新歯科衛生士教本 口腔解剖・口腔組織発生学・口腔生理学 17-18**
- 3 解答：a、b**  
 下顎骨は板状の歯が植立している下顎体と、後方の下顎枝からなる。下顎枝には前方の筋突起と後方の関節突起がある。  
 a ○ 筋突起は側頭筋がつく三角形の突起である。  
 b ○ 関節突起は側頭骨との間で顎関節を構成する。  
 c × 頬骨突起は頬骨と結合し、頬骨弓の一部を形成する上顎骨の突起である。  
 d × 歯槽突起は上顎歯の歯根を容れる歯槽をつくる上顎骨の突起である。  
**文献：最新歯科衛生士教本 口腔解剖・口腔組織発生学・口腔生理学 30-32**
- 4 解答：a、b**  
 歯はエナメル器、歯乳頭および歯小囊からなる歯胚から形成される。エナメル器からエナメル質が、エナメル器が変化した退縮エナメル上皮から歯小皮と歯肉の付着上皮が、歯乳頭から象牙質と歯髄が、歯小囊からセメント質、歯根膜、歯槽骨の一部が形成される。  
 a ○  
 b ○  
 c ×  
 d ×  
**文献：最新歯科衛生士教本 口腔解剖・口腔組織発生学・口腔生理学 209-212**
- 5 解答：b、d**  
 米やパンの主成分であるデンプンは、唾液や膵液に含まれる消化酵素アミラーゼによって麦芽糖（マルトース）に分解され、次いで小腸粘膜のマルターゼによってブドウ糖（グルコース）に分解される。  
 a × リパーゼは中性脂肪の分解酵素である。  
 b ○ 麦芽糖はブドウ糖が2分子結合した二糖類である。  
 c × スクララーゼはショ糖（スクロース）を分解する酵素である。  
 d ○ デンプンはブドウ糖が多数結合した多糖類である。  
**文献：最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 24、141**

## 解答・解説

6 解答：a、b

- a○ 膵臓のランゲルハンス島のB細胞から分泌されるインスリンは血糖値を下げる作用がある。  
 b○ 膵臓のランゲルハンス島のA細胞から分泌されるグルカゴン<sup>1</sup>は血糖値を上昇させる。また、副腎皮質ホルモンである糖質コルチコイド（グルココルチコイド）も血糖値を上昇させる。  
 c× 甲状腺から分泌されるカルシトニンは、血中カルシウム濃度を低下させる。  
 d× ノルアドレナリンは副腎髄質から分泌され、血圧上昇作用がある。

文献：最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 231

7 解答：d

ミトコンドリアは細胞呼吸によりATP（アデノシン三リン酸）とよばれる高エネルギー物質を合成する。ATPは細胞活動のエネルギー源となる。ミトコンドリアの機能として、細胞呼吸、ATPの産生、およびエネルギー産生を互いに関連づけられるようにする。

- a× 核は遺伝子情報源である。  
 b× 膜のポンプとよばれる特殊なタンパク質（例：Na<sup>+</sup>/K<sup>+</sup>ポンプ）により能動輸送が営まれる。必要なエネルギーはATPが供給する。  
 c× リボソームはタンパク質を合成する場である。  
 d○

文献：最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 16-17、20-21

8 解答：c

赤血球はその中に含まれるヘモグロビン（色素、Hb）により酸素と炭酸ガスを運搬する。血液の液体成分（血漿）および細胞成分（血球）に含まれる物質名とその機能を理解する。

- a× 血漿に含まれるタンパク質の1つで膠質浸透圧維持などに関与する。  
 b× 血漿に含まれるタンパク質の1つで免疫に関与する。  
 c○ 赤血球中にある色素タンパク質。血液の赤い色はヘモグロビンによる。  
 d× 血漿に含まれるタンパク質の1つで血液凝固に関与する。

文献：最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 116-117、184-185

9 解答：a

細胞内では遺伝情報に基づいてタンパク質を合成している。

- a○ リボソームはタンパク質を合成する場である。粗面小胞体はこのリボソームが表面に付着した小胞体のことである。  
 b× リソソームは細胞内の消化器官である。  
 c× ゴルジ装置は合成されたタンパク質を濃縮して、分泌顆粒などをつくる場所である。  
 d× ミトコンドリアは細胞呼吸の場であり、エネルギーとなるATP（アデノシン三リン酸）を産生している。

文献：最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 17-18

## 解答・解説

## 疾病の成り立ち及び回復過程の促進

10 解答：a

容易に出血しすぐには止血できない状態を出血性素因といい、血管壁の障害によるもの、血小板の減少、血液凝固因子の欠乏や生成障害によるものがある。

- a○ ビタミンCの欠乏により起こる出血性素因を壊血病といい、血管壁のコラーゲン合成が障害され内皮細胞間の結合が疎になり、漏出性出血を起こす。  
 b× 薬物や感染症、腫瘍などで骨髄の造血機能が障害されることにより、血小板の減少が起こり出血する。血小板減少性紫斑病が知られている。  
 c× 先天的な血液凝固因子の欠損には、第Ⅷ因子の欠乏による血友病A、第Ⅸ因子欠乏による血友病Bがある。伴性劣性遺伝により、男性のみに発症する。  
 d× 肝機能障害やビタミンKの欠乏により後天的に血液凝固因子の生成が障害されて出血することがある。

文献：最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学 16-17

最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 158

11 解答：a、c

仮性ポケットとは歯肉の炎症性腫大により歯肉溝が相対的に深くなったもので、歯槽骨の吸収はみられない。薬物の副作用として歯肉の線維性結合組織が増殖したものを薬物性歯肉増殖症とよび、仮性ポケットが形成される。薬物性歯肉増殖症は、薬物のみで引き起こされるのではなく、ブラークの炎症性刺激が加わることで発症する。

- フェニトインやニフェジピンのほか、臓器移植患者に用いる免疫抑制薬であるシクロスポリンも歯肉増殖症を引き起こす。  
 a○ フェニトイン歯肉増殖症は、てんかん治療のために抗けいれん薬であるジフェニールヒダントインを長期間服用している患者にみられるもので、ダイランチン歯肉増殖症ともいわれる。  
 b× 造血時に多量の異常ポルフィリン（ヘモグロビンの構成要素）が産生されて体内に蓄積される先天性ポルフィリン症の患者の歯では、象牙質に暗赤色の着色がみられる。  
 c○ ニフェジピン歯肉増殖症は、高血圧患者血圧降下薬のカルシウム拮抗薬により起こる。  
 d× テトラサイクリンは抗菌薬で、歯の形成期間中に多量に服用することによりエナメル質や象牙質に沈着し萌出後の歯が黄色ないし褐色になる。

文献：最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学 114-115

最新歯科衛生士教本 歯周治療 20、52

最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 21、59

12 解答：d

免疫担当細胞の機能、特に抗原提示のメカニズムを理解する。

- a× 赤血球はヘモグロビンという色素を含み酸素の運搬などに関与するが、免疫担当細胞としての機能はない。  
 b× 肥満細胞はおもにⅠ型アレルギー（アナフィラキシー反応）に関与している細胞である。  
 c× Tリンパ球は抗原提示細胞（マクロファージ）から抗原情報を受け取って活性化する。  
 d○ マクロファージは異物を貪食し、処理した抗原情報をリンパ球に提示する。

文献：最新歯科衛生士教本 微生物学 83-85

13 解答：a、b

- a○ 線毛は宿主細胞付着器官である。  
 b○ 莢膜・粘液層は付着に関連する定着因子である。  
 c× 芽胞は細胞の内部にあり、細胞付着機能はない。  
 d× 細胞壁には細胞付着機能はない。

文献：最新歯科衛生士教本 微生物学 12、18、20、25-26

## 解答・解説

- 14 **解答**: a  
 グラム陰性桿菌のうち歯周病原菌の病原因子を理解する。  
 a ○ 内毒素はグラム陰性菌外膜に存在し、歯周病原菌では歯槽骨吸収と歯周組織の破壊に関与する。  
 b × 発赤毒は溶血性レンサ球菌の猩紅熱に関わる毒素で、歯周病原菌にはない。  
 c × ヒアルロニダーゼはおもにグラム陽性菌が産生する酵素で、結合組織を破壊するが歯周病原菌にはない。  
 d × エンテロトキシンは腸管毒で、歯周病原菌にはない。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 微生物学 41-43、133-135

- 15 **解答**: c  
 用量-効果曲線から ED<sub>50</sub>を、用量-死亡曲線から LD<sub>50</sub>を読み取る。LD<sub>50</sub>を ED<sub>50</sub>で割った値は安全域（治療係数）とよばれ安全性の目安になる。図では、LD<sub>50</sub>と ED<sub>50</sub>が離れているほど安全域は大きく、薬物の安全性は高い。  
 a ×  
 b ×  
 c ○  
 d ×

**文献**: 最新歯科衛生士教本 薬理学 12

- 16 **解答**: b、d  
 a × ホルマリンは強力な消毒作用を示すが、刺激が強いため手指や粘膜の消毒には使用しない。  
 b ○  
 c × 次亜塩素酸ナトリウムは強力な消毒作用を示すが、刺激が強いため手指や粘膜の消毒には使用しない。  
 d ○ 塩化ベンザルコニウムや塩化ベンゼトニウムは陽イオン系界面活性剤であり、手指、粘膜や創傷面の消毒に使用する。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 薬理学 125-130

## 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み

- 17 **解答**: b、c  
 平成7年度から CO（要観察歯）を記入することになった。  
 a × 要観察であって、治療の指示はしない。  
 b ○ 生活習慣などに対する指導が必要である。  
 c ○ ブラッシングやフッ化物応用などで歯の再石灰化が期待できる。  
 d × 精密検査による診断ではなく、定期的な学校健診に用いられる。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 267

- 18 **解答**: c、d  
 ブラッシングやフロッシングで除去できるのは、プラークと食物残渣である。ペリクルは歯面研磨、歯石はスケーリング・ルートプレーニングにより除去できる。  
 a ×  
 b ×  
 c ○  
 d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 21-23

## 解答・解説

- 19 **解答**: a  
 口腔清掃は口腔の自浄作用、機械的清掃法、化学的清掃法の3種類に分類される。各部分により必要な清掃法は異なる。  
 a ○  
 b × 歯ブラシなどによる機械的清掃法が必要となる。  
 c × 専門家による機械的清掃法が必要となる。  
 d × 小窩裂溝部は自浄作用が及ばない。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 120

- 20 **解答**: c  
 地域歯科保健活動は、地域社会を1つの単位とし、その地域住民が健康な生活を送れるよう生涯を通じた健康増進のために、地域の社会的特性および経済的特性などを重視して、住民が主体となって行う活動である。  
 a ×  
 b ×  
 c ○ 住民の問題を知るとともに分析し、その問題点に対する具体的対策を立て実施する。さらにその保健活動の効果を評価し、次の活動に活用する。  
 d ×

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 232-236

- 21 **解答**: b  
 歯石は、歯面に沈着した無機塩類であり、その表面には常にプラークが存在する。主成分はリン酸カルシウムであり、その他にリン酸マグネシウムや炭酸カルシウムなどが含まれる。  
 a ×  
 b ○  
 c ×  
 d ×

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 115-116

- 22 **解答**: c  
 学校歯科医は非常勤学校保健関係職員で、その職務は学校保健安全法で規定されている。  
 a × 学校長の職務である。  
 b × 健康指導や保健相談は職務であるが、授業は職務ではない。  
 c ○  
 d × 学校薬剤師の職務である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 268

- 23 **解答**: d  
 A型の歯蝕感受性は比較的低い。B型はかなり高く、C<sub>2</sub>型はきわめて高い。  
 a ×  
 b ×  
 c ×  
 d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 258-259

## 解答・解説

- 24 **解答**: b  
O'Leary の PCR (1972) は歯肉縁に付着した歯垢を歯面別に評価する。歯垢は染め出し剤によって確認し、算出は次式による。PCR = 歯垢染色歯面数 / 被検歯面数 (被検歯数 × 4) × 100 (%)  
a ×  
b ○  
c ×  
d ×  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 102
- 25 **解答**: a  
環境汚染により生じた健康障害のうち、いわゆる四大公害病では多くの被害者が出た。  
a ○ 第二の水俣病といわれる新潟水俣病地域である。  
b × イタイイタイ病は富山県神通川流域で発生した。  
c × 三重県四日市市周辺の工業地帯では大気汚染による呼吸器障害が発生した。  
d × 水俣病は熊本県の水俣湾周辺住民に発生した。  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第 2 版 51-53
- 26 **解答**: b, c  
上水道は清浄で安全な水を供給するものである。浄水は沈殿→濾過→消毒の過程を経て行われる。  
a × 2013 年末の普及率は 97.7% である。  
b ○ 水源としては河川、湖沼などの地表水が最も多い。  
c ○ 水道法により塩素消毒が義務づけられている。  
d × 水道法によるフッ素濃度の基準は 0.8 mg/L 以下である。  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第 2 版 42-44
- 27 **解答**: a  
温熱因子の測定にはさまざまな器具が用いられる。  
a ○ カタ寒暖計人体に見立てて考案された。微気流の測定にも用いられる。  
b × 黒球寒暖計は輻射熱の測定に用いられる。  
c × アウグスト乾湿計は気温と気湿を測定する。気流や輻射熱の影響を受ける。  
d × アスマン通風乾湿計は気温と気湿を測定する。気流や輻射熱の影響を受けにくい。  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第 2 版 40
- 28 **解答**: a, d  
介護保険の給付には、要介護者に対する介護給付と要支援者に対する予防給付がある。市町村に設置されている介護認定審査会の判定に基づいて、要介護度が認定され、給付が行われる。  
a ○  
b ×  
c ×  
d ○  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第 2 版 18-22  
歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険 第 7 版 (医歯薬出版) 88-92

## 解答・解説

- 29 **解答**: b  
医療施設については、医療法などにより定義されている。  
a × 地域医療支援病院は、地域の病院や診療所などを後方支援する。  
b ○  
c × 特定機能病院は高度医療の提供などを行う。  
d × 患者の収容施設がないか、19 人以下のものが診療所である。  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律 第 2 版 52  
歯科衛生士のための衛生行政・社会福祉・社会保険 第 7 版 (医歯薬出版) 36
- 30 **解答**: b  
母子保健法に基づく母子保健対策や各種用語を整理しておく。  
a × 市町村が交付する。  
b ○  
c × 自立支援医療は障害者自立支援法により実施されている。  
d × 出生時体重が 2,500 g 未満の者は低体重児である。未熟児とは身体の発育が未熟のまま出生した乳児で、正常児が出生時に有する諸機能を得るに至るまでの者をいう。  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第 2 版 248-251
- 31 **解答**: a  
学校における感染症の出席停止基準については、学校保健安全法により規定されている。  
a ○ 解熱後 3 日と定められている。  
b × 発疹が消失するまでと定められている。  
c × すべての発疹が痂皮化するまでと定められている。  
d × 治癒するまでと定められている。  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第 2 版 272
- 32 **解答**: c, d  
酸性雨は石油や石炭などの化石燃料の燃焼に伴って発生する硫酸酸化物、窒素酸化物などの強酸性物質が雨に溶け込むことにより生じる。  
a × おもに自動車の排気ガスや喫煙により発生する大気汚染物質である。  
b × 地球温暖化の原因となる。  
c ○  
d ○  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第 2 版 50
- 33 **解答**: c  
日本人の食事摂取基準は、健康人を対象として、国民の健康の保持・増進、生活習慣病の予防のために標準となるエネルギーおよび各栄養素の摂取量を示す。栄養欠乏症を予防する観点から、特定の年齢層や性別集団の必要量を測定し、その集団における 50% の人の必要量を満たすと推定される 1 日の摂取量を「推定平均必要量」とした。また、その集団のほとんどの人 (97~98%) の 1 日の必要量を満たすに十分な摂取量を「推奨量」として示している。一方、過剰摂取による健康障害を予防する観点から、特定の集団においてほとんどの人に健康上悪影響がない栄養素の最大摂取量を「耐容上限量」として示し、これらの数値を総称して「食事摂取基準」とよぶ。  
a × 推定平均必要量は A である。  
b × 推定平均必要量が算定されない場合の食事摂取基準は B' である。  
c ○ 耐容上限量は C である。  
d × 推定平均必要量が算定される場合の食事摂取基準は B である。  
**文献**: 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 134-136

## 解答・解説

- 34 **解答**: c  
 「日本人の食事摂取基準 (2015年版)」では、1日当たりの食塩摂取の目標量が成人男性 8.0 g 未満、成人女性が 7.0 g 未満にそれぞれ変更になった。  
 a ×  
 b ×  
 c ○  
 d ×

**文献**: 最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 166-167

## 歯科衛生士概論

- 35 **解答**: d  
 歯科衛生士法 (第 13 条の 5) に、歯科衛生士の秘密保持義務が定められている。  
 a ×  
 b ×  
 c ×  
 d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論 47-48

## 臨床歯科医学

- 36 **解答**: c  
 BMI (Body Mass Index) を用いた標準体重は、標準体重 (kg) = [身長 (m)]<sup>2</sup> × 22 で計算できる。よって、標準体重 (kg) = (1.6)<sup>2</sup> × 22 = 56 となる。なお、22 は最も疾病の少ない BMI 値である。  
 a ×  
 b ×  
 c ○  
 d ×

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 279

- 37 **解答**: a, b  
 光重合型ガラスアイオノマーセメントは、従来型に比べ機械的強さや崩壊率、耐摩耗性などの性質の向上や硬化初期の感水性が改良されている。  
 a ○  
 b ○  
 c × 硬化後は感水性の影響が少ない。  
 d × 粉末には、化学硬化型の組成にカンファーキノン (光官能重合開始剤) と重合促進剤が加えられている。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 53-56

- 38 **解答**: a, b  
 矯正中の歯の移動により明らかになったう蝕である。遠心隣接面の接触点直下に存在する平滑面う蝕で、窩洞形成後に、コンポジットレジン修復やガラスアイオノマーセメント修復が適応症となる。  
 a ○ 切歯の隣接面における窩洞なのでⅢ級である。  
 b ○  
 c × 象牙質う蝕なのでう蝕症第 2 度である。  
 d × う蝕は遠心隣接面に位置する。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 20-23

## 解答・解説

- 39 **解答**: b, d  
 防湿法は保存治療時の重要な前処置の 1 つである。目的としては術野の明瞭化、術野の唾液や呼気からの隔離などがあげられる。ラバーダム防湿と、コットンロールなどを用いる簡易防湿とがある。  
 a ×  
 b ○  
 c × 防湿法の目的には歯間分離は含まれておらず、歯間分離を要する際には、くさびや各種セパレーターを併用する必要がある。  
 d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 29-30

- 40 **解答**: a, d  
 正確な診断に基づく適切な治療法の選択は、治療上欠かせない。そのなかでも、歯髄炎と根尖性歯周炎の鑑別は基本的事項である。これは患歯が有髄歯か無髄歯かを判別することでもある。  
 a ○ 歯根膜の反応をみるもので、打診音、垂直打診、水平打診などから判断する。  
 b × 歯髄炎の患歯を特定する診査法である。  
 c × 強い光を歯に照射して透過光の陰影で亀裂やう蝕の存在を知る診査法である。  
 d ○ 電気診 (電気歯髄診断) は最も信頼度の高い歯髄の生死判別法である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 118-122

- 41 **解答**: b  
 根管スプレッダーは、側方加圧根管充填時に主ポイントおよび補助ポイントを根管壁に圧接するためのテーパーを有する器具で、補助ポイントを挿入するための空隙を形成する。繰り返し使用して根管内を緊密に充填する。  
 a ×  
 b ○  
 c ×  
 d ×

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 165-166

- 42 **解答**: a, b  
 ポケットの形成と種類について理解する。  
 a ○ 歯肉炎では仮性ポケット (歯肉ポケット) が形成される。  
 b ○  
 c × 真性ポケット (歯周ポケット) ではアタッチメントロスを伴う。  
 d × グラム陰性 (桿)、嫌気性菌などがみられる。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 18、21  
 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第 2 版 22

- 43 **解答**: c, d  
 プロビングとは目でみえない場所をプローブで探るという意味である。歯周組織の検査において、直視できない部分や直視しにくい部分を、プローブを用いて探索することで多種多様な情報が得られるので、歯周組織健康状態の確認や疾患の治療を行ううえで欠くことのできない操作である。  
 a × 歯の動揺度はピンセットによる加圧によって調べる。  
 b × 根分岐部病変の有無とその程度の診査を含む。  
 c ○ 角化歯肉幅の測定とポケットの深さを測定することによりわかる。  
 d ○ ポケットの深さ測定時に歯肉からの出血の有無を同時に診査する。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 53-57、118-124  
 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第 2 版 60-63、139-143

## 解答・解説

44 解答: b, d

- a × 歯肉増殖はプラークによって引き起こされ、服用薬剤によって修飾され悪化する。  
 b ○ 妊娠性歯肉炎は性ホルモンのバランスの変化に関連しているため、出産後症状は軽くなる。  
 c × 破壊性歯周炎のうち若年性歯周炎は思春期から発症し、急速進行性歯周炎は20~30歳代で急速に進行する。  
 d ○ 重度歯周炎では外傷性咬合と合併し、歯の病的移動が起こることがある。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 17-26  
 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 18-25

45 解答: b

- 歯の欠損、喪失に伴う周辺の変化や障害について理解する。  
 a × 1本の欠損であっても長期的にその状態を放置すれば歯列の変化が生じ、咬合の破綻へと進展する。  
 b ○ 隣在歯に傾斜、移動が生じる。  
 c × 咬合接触を失った対合歯に挺出が生じる。  
 d × 隣在歯が移動することにより接触がゆるむ。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 24-28

46 解答: c, d

- 下顎運動とは上顎に対する下顎骨全体の運動を表す。下顎運動はさまざまな口腔内組織により規制されていて、その運動範囲には限界がある。この運動範囲を立体的に表したものをポッセルトの図形という。  
 a × 上顎を構成する一部分であるが、下顎運動に影響はない。  
 b × 下顎運動は歯の接触によっても規制されるが、歯根膜の存在が運動範囲を決定するわけではない。  
 c ○ 咀嚼筋は下顎を動かす筋肉であり、下顎運動を規制する要素となる。  
 d ○ 顎関節を構成する側頭骨の部位で、この形態は下顎の限界運動を決める要素となる。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 20-23  
 新歯科衛生士教本 歯科補綴学 30-35

47 解答: a, c

- 部分床義歯、ブリッジそれぞれの利点、欠点を理解する。  
 a ○ クラスプなどがみえないので審美性がよい。  
 b × 遊離端欠損や多数歯欠損には適応できない。  
 c ○ 固定性であるため、咀嚼能率は高い。  
 d × 支台歯形成をする必要がある。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 49-52、54-62

48 解答: d

- ウイルス性疾患では、小水疱が多発するのが特徴である。  
 a × 原因不明で、細いレース状あるいは網目状の角化部とそれに囲まれた紅斑部ないしはびらんからなる。  
 b × 歯肉に限局した有茎性の炎症性増殖による腫瘤で、まれに腫瘍性増殖を示すものがある。原因としては慢性的な刺激、抗てんかん薬、妊娠などがあげられる。  
 c × 自己免疫疾患と考えられ、再発性アフタと皮膚の結節性紅斑、虹彩毛様体炎、外陰部潰瘍を主症状とする全身疾患である。  
 d ○ 単純疱疹ウイルスの感染により、口唇周囲に小水疱が出現する。

文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 50-51、55、58-59、108-109

## 解答・解説

49 解答: c

- 顔面神経麻痺の症状は特異的であり、それぞれの症状に特徴的な名前がついている。麻痺性兔眼、Bell 症状、口笛不能、眼瞼下垂、口角下垂、鼻唇溝消失などである。写真は口笛不能を示している。  
 a × 顔面神経は運動神経であるため、神経痛は起こらない。  
 b × 神経痛は疼痛だけが症状であり、麻痺を伴わない。また、顔面の表情筋の運動神経支配は顔面神経である。  
 c ○ 写真および設問の症状がすべて顔面神経麻痺のものである。  
 d × 外傷、手術、腫瘍などによる神経損傷や圧迫により知覚麻痺が発生する。

文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 127-128

50 解答: c, d

- 表面麻酔について理解する。  
 a × よく乾燥させた粘膜に塗布する。  
 b × 嘔吐反射の強い患者に用いる。  
 c ○  
 d ○

文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 185-186

51 解答: a, c

- 脈拍の測定法を理解する。  
 a ○  
 b × 頻脈とは100回/分以上をいう。  
 c ○  
 d × 通常、示指、中指、薬指の3指を用いる。

文献: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 180-181

52 解答: a

- a ○ 写真のプライヤーはヤングプライヤーで、三段になった円錐と四角錐の先端を有し、リテーナーや舌側弧線装置など太めのワイヤーの屈曲に用いる。  
 b × バードピックプライヤーは先端が円錐と四角錐になっており、矯正線を屈曲するのに用いる。  
 c × ユーティリティプライヤーは先端がカーブを描くように曲がっており、結紮、遠心端の処理、ワイヤーの把持など多用途に用いられる。  
 d × バンドコンタリングプライヤーの先端は凹面と凸面になっており、先端の間にバンドをはさんで賦型する(形を整える)のに用いる。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 127-132、140

53 解答: c

- 写真は、混合歯列期の上顎に装着された可撤式床矯正装置の一種で可撤式拡大床である。  
 a ×  
 b ×  
 c ○ ネジを後方に回転することにより、歯列弓を側方に拡大する。  
 d ×

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 73-74

## 解答・解説

- 54 **解答**: d  
Angle の不正咬合の分類は上顎第一大臼歯を基準として上下歯列の近遠心的関係を見る。  
a × 上下歯列弓が正常な近遠心的関係にある。  
b × 両側性の下顎遠心咬合で上顎前歯が前突している。  
c × 両側性の下顎遠心咬合で上顎前歯が後退している。  
d ○ 下顎歯列弓が上顎歯列弓に対し近心にある。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 32-33
- 55 **解答**: b  
a × 支台歯にバンドを装着する保険装置である。  
b ○  
c × 下顎乳臼歯が欠損しており、かつ第一大臼歯と永久4切歯がすでに萌出している場合に適応となる保険装置である。  
d × 支台歯にろう着したバーが、未萌出の第一大臼歯の近心面に位置するように作製される保険装置である。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 85-86
- 56 **解答**: b  
a × 有機質は乳歯のほうが多い。  
b ○  
c × エナメル質の厚さは永久歯の1/2である。  
d × 結晶の大きさは小さい。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 27
- 57 **解答**: c、d  
a × 男児が多い。  
b × 上顎乳中切歯・中切歯が最も多い。  
c ○ 歯の保存液などでもよい。  
d ○ 数か月後に変化や痛みが出たりすることがある。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 166-167
- 58 **解答**: c  
a × 歯冠の大きさが平均値よりも著しく小さい歯を矮小歯という。  
b × 隣り合う歯胚が発育途中で融合して象牙質を含めて一体化した歯のことである。  
c ○  
d × 先天性梅毒による歯の形態異常であり、上顎切歯ではハッチンソン歯、臼歯ではムーン歯として現れることがある。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 30-33
- 59 **解答**: a、d  
高齢者への説明などに必要な接し方（コミュニケーションスキル）を理解する。  
a ○ 一度に多くの情報提供や専門用語の使用は理解を不十分にさせる。  
b × 視力低下や聴力低下などで接する距離の調節が必要なことが多い。  
c × 外界刺激の反応遅延や身体制限などで高齢者のスピードに合わせることもある。  
d ○ 笑顔での対応などでよいコミュニケーションがとれることが多い。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 49

## 解答・解説

- 60 **解答**: c  
介護保険制度について理解する。  
a × 保険者（保険料の徴収と給付）は市町村である。  
b × 調査は市町村職員やケアマネジャーなど介護保険法に定められた介護保険認定調査員により行われる。  
c ○ 介護保険制度は従来の老人福祉制度と老人保健医療制度を再編成した社会保障制度である。  
d × 対象年齢は第1号被保険者：65歳以上、第2号被保険者：40歳以上65歳未満の医療保険加入者である。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 18-23
- 61 **解答**: b、c  
a × ダウン症候群に多くみられる手のひらを横断して走るしわのことである。  
b ○  
c ○ 脳の病変による運動機能の障害といわれている。  
d × ダウン症候群に多くみられる。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 小児歯科 111-112、114  
最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 25-28
- 62 **解答**: c  
a × 歯の先天欠如が多く、過剰歯はまれである。  
b × 上顎の劣成長が特徴であり、下顎は正常である。  
c ○ 上顎の劣成長のため、反対咬合が特徴である。  
d × 基本的に歯の萌出は遅い。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 14-16
- 63 **解答**: b、c  
a × 薬物的行動調整の一種である。  
b ○ Tell（話して）Show（みせて）Do（行う）というテクニックである。歯科器械の提示法として一般臨床で応用されている。  
c ○ 「ほめ上手、叱り上手」を演じられるよう音声を巧みに使い分けることである。  
d × オペラント条件づけ療法の一種である。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 59-66  
最新歯科衛生士教本 小児歯科 102-105、120
- 歯科予防処置論**
- 64 **解答**: a、c  
a ○ 歯周病のリスク評価に用いる。  
b × う蝕のリスク評価に用いる。  
c ○ 歯周病のリスク評価に用いる。  
d × う蝕のリスク評価に用いる。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 146-148  
最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 117-129  
最新歯科衛生士教本 歯周治療 122  
最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 142

## 解答・解説

- 65 **解答**: d  
 歯の動揺度の測定はピンセットを用いて歯を動かして診査する。前歯部はピンセットで切縁を挟み、唇舌側方向に動かし診査する。臼歯部はピンセットを咬合面に押し当て頬舌・近遠心側に動かし診査する。  
 a × 近遠心に動揺する。2度または3度みられる。  
 b × 垂直に動揺する。3度みられる。  
 c × 近遠心に動揺する。2度または3度みられる。  
 d ○ 唇舌(頬舌)に動揺する。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 99-100

- 66 **解答**: c, d  
 a × 有機成分の約70%が細菌である。  
 b × 唾液腺の開口部に近い上顎第一大臼歯頬側面と下顎前歯舌側面は歯肉縁上歯石が沈着しやすい。  
 c ○  
 d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 115-116  
 新歯科衛生士教本 歯科予防処置 22-23

- 67 **解答**: c, d  
 プラークは歯科の二大疾患であるう蝕と歯周病の発生の重要な因子である。プラークはその存在部位により歯肉縁上プラークと歯肉縁下プラークに大別できる。さらに、歯肉縁下プラークには歯根面にみられる付着性プラークと歯周ポケット内を浮遊している非付着性プラークがある。  
 a × スケーリングなどによる除去が有効である。  
 b × 付着性プラークが原因となる。  
 c ○ 非付着性プラークは縁下プラークなのでグラム陰性菌が主体となる。  
 d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 110-115

- 68 **解答**: b  
 アタッチメントレベルは、セメント-エナメル境からポケット底部までの距離を示す。歯周組織の破壊の変化を表す指標となる。セメント-エナメル境は定点のため変化しない。このため歯肉退縮、歯周疾患の継時的変化を把握するうえで、客観性や再現性が高い指標である。アタッチメントレベルが根尖側に移動することをアタッチメントロス(付着の喪失)、歯冠側に移動することをアタッチメントゲイン(付着の獲得)という。  
 a × 歯周プローブの目盛り間隔は2mmである。  
 b ○ セメント-エナメル境からポケット底部までの距離は4mmである。  
 c × 歯肉縁からポケット底部までの距離であるポケットデプスが5mmである。  
 d ×

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 94-95  
 最新歯科衛生士教本 歯周治療 121-122  
 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 60-62

- 69 **解答**: b, c  
 a × プロービング圧は20~25g程度が適正な圧といわれている。  
 b ○ 隣接面のポケットは中央方向にややプローブを傾けて挿入する。  
 c ○ ウォーキングストロークといい、ポケット底を意識しながら歩くように探る。  
 d × プロービング後数秒たってからの出血は歯周ポケットが深く活動性の高い疾患が疑われる。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 93-99

## 解答・解説

- 70 **解答**: a, c  
 スケーリング後の歯面研磨の目的は、歯面の滑沢化による歯石の再沈着防止、色素性沈着物の除去などである。  
 a ○ ポリッシングブラシは、歯面に対し、毛先が直角に当たるよう操作する。  
 b × ポリッシングブラシの使用部位は歯面や咬合面で、歯肉縁下は、ラバーカップの辺縁を挿入して行う。  
 c ○ 隣接面の研磨には、デンタルフロスに研磨剤を用いて行うこともある。  
 d × 摩擦熱による歯髄への影響を考慮し、低速回転で操作する。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 174-177

- 71 **解答**: a, d  
 a ○  
 b × 上顎右側臼歯部頬側はサイドポジションまたはフロントポジションで歯石除去する。  
 c × 下顎左側臼歯部舌側はサイドポジションで歯石除去する。  
 d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 141-153

- 72 **解答**: b  
 a ×  
 b ○ 上顎右側近心面および近心方向の隣接面は#12を使用する。  
 c ×  
 d ×

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 138  
 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 164-165

- 73 **解答**: c, d  
 ルートプレーニングの目的は、プラークや歯石、病的セメント質を除去することで歯や歯周組織の健康を維持したり、再発を予防することである。通常ルートプレーニングはスケーリングによって歯石が除去された根面に対して行われる。  
 a × 機械を用いての歯面清掃や歯面研磨の際に行う。  
 b × おもに歯肉縁下歯石や残余の歯石の除去が目的である。  
 c ○  
 d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 4

- 74 **解答**: c, d  
 a × 超音波歯ブラシの周波数は1.2~1.6MHzである。  
 b × 音波歯ブラシの周波数は200~300Hzである。  
 c ○  
 d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 161-162、171、208-210

## 解答・解説

- 75 **解答**: c, d  
 シャープニングとは、刃の原形（角度）を維持しながら、もとの切れ味に復元させることである。鋭利なスケーラーを使用するのは、質の高い医療を提供するうえで必要不可欠なことであり、スケーリング、ルートプレーニングとともに歯科衛生士に求められる手技である。
- a × 比較的小さな力で、かつ一定の力で研ぐ。
  - b × 砥石は粒子の粗いものから細かいものの順に使用する。アーカンサスストーンは粒子が細かいので仕上げ用として用いる。
  - c ○
  - d ○ スラッジは金属の削りかすと油が混ざった泥状物である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯周治療 164-167  
 最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 197-200  
 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 155-161

- 76 **解答**: a, c  
 フッ化物は使用量を誤ると短時間に急性の中毒症状が現れる。安全性に配慮していれば、急性中毒が生じることはない。う蝕予防にフッ化物を応用する場合、う蝕予防効果、対象者、口腔内のフッ素残留量を理解し、計画を立てて実施する必要がある。
- a ○ 萌出直後の歯は反応性が高く、フッ化物塗布による付加物の取り込みの量が多いので、個々の歯が萌出するたびに塗布することが効果的である。また、成人や高齢者の場合、隣接面う蝕や根面う蝕予防にも効果的である。
  - b × フッ化物の局所応用によるう蝕抑制率は、フッ化物歯面塗布では20~50%、フッ化物洗口で20~50%、フッ化物配合歯磨剤で25~40%である。
  - c ○ フッ素による急性中毒が生じることも考え、フッ化物歯面塗布を実施する場合、使用量を守ることが必要である。
  - d × 2%フッ化ナトリウム溶液でフッ化物歯面塗布を行う場合、通常、2週間以内に4回塗布を行う。リン酸酸性フッ化ナトリウム溶液で行う場合は、通常、年1~2回塗布を行う。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 190-192

- 77 **解答**: b, d  
 フッ化物洗口法（週1回）法は0.2%フッ化ナトリウム溶液（900 ppm）を使用し実施する。洗口時は溶液を5~10 mL口に含み、うつむぎ加減で1分間ぶくぶくうがいをする。洗口後は30分程度の飲食、うがいを避けるようにする。週1回法は小学校、中学校など集団で実施されることが多い。
- a ×
  - b ○
  - c ×
  - d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 196-198

- 78 **解答**: b  
 カリオスタット<sup>®</sup>は歯垢中の細菌の酸産生能を測定する。判定は判定用色見本と比較して行う。
- a ×
  - b ○
  - c ×
  - d ×

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 123-124

## 解答・解説

- 79 **解答**: b  
 a × 裂溝入口部に段差があり食物の停留を招きやすい。また、樹脂の量も少ない。  
 b ○ 裂溝入口部がグロブ状に封鎖されており、好ましい形態である。  
 c × オーバーフィリングである。  
 d × アンダーフィリングである。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置・歯科保健指導論 200-205  
 歯科衛生士のための齶蝕予防処置法 104-105

## 歯科保健指導論

- 80 **解答**: c, d  
 ヘルスプロモーションとは、人々が自らの健康をコントロールし改善することができるようにするプロセスである。オタワ憲章ではその活動方法として、地域活動の強化、個人技術の開発のほか健康な公共施策づくり・健康を支援する環境づくり・ヘルスサービスの方向転換をあげ、その必要性を説いている。
- a ×
  - b ×
  - c ○
  - d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 3-4

- 81 **解答**: c, d  
 a × 歯間空隙がないので歯間ブラシの挿入は無理である。  
 b × ラバーチップは歯肉マッサージ、歯肉の退縮した隣接面の清掃に使用される。  
 c ○ 隣接面の清掃に適している。  
 d ○ ワンタフトブラシを歯列不正部に当て歯間に沿って操作し、プラークを除去する。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 215-225

- 82 **解答**: a, c  
 舌苔は、舌背中央部から舌根にかけて食物残渣、唾液成分、微生物、剥離上皮が堆積し苔状を呈する。清掃する際には一度に取ろうと無理をせず、数回に分けて行う。
- a ○
  - b × 自浄作用の行き届かない舌背中央部から舌根にかけて堆積する。
  - c ○
  - d × 舌ブラシや軟らかい歯ブラシで舌表面を傷つけないように優しく清掃を行う。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 135-137  
 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 86-87

- 83 **解答**: b  
 歯垢除去効果の高い毛先を用いるブラッシングが普及するようになり、テーパーカットやラウンドカットされた歯ブラシが多く市販されるようになった。歯周ポケット内にも毛先が入りやすく、歯肉を傷つけにくい。
- a × 円状（ラウンドカット）
  - b ○
  - c × スーパーテーパー（先端極細加工）
  - d × 球状

**文献**: 最新歯科衛生士教本 口腔保健管理 140

## 解答・解説

- 84 **解答**: a, d  
 通常、うがいといえば洗口と含嗽の2つがある。洗口剤は薬事法で化粧品と医薬部外品に分類され、おもに口臭やう蝕予防など歯科疾患の予防を目的としている。これに対し含嗽剤は医薬品として分類され、口やのどの殺菌、消毒、防臭、洗浄などの医薬的効果を目的としている。
- a ○
  - b × パラベンや安息香酸ナトリウムなどの保存剤は配合されているが、粘結剤の配合はない。
  - c × 含嗽剤がこれにあたる。
  - d ○ 清涼感や消毒効果も期待されるが刺激を引き起こすことがあるため、製品のなかにはエタノールの配合されていないものもある。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 227-228

- 85 **解答**: d  
 糖尿病は、インスリンの作用不足により高血糖をはじめ、さまざまな代謝障害が起こり、全身の血管系、神経系などの合併症をきたす慢性の疾患である。医療者側は、疾患の状態をあらかじめ知ったうえで患者と接することが必要である。
- a ○ 特に感染に対する抵抗力が弱いことを念頭に置き、視血処置においては感染予防に留意する。
  - b ○ 唾液分泌の減少がみられることがあり、口腔内が乾燥し、不潔になりやすいので注意を要する。
  - c ○ 空腹を続けると容易に低血糖性ショックを起こし、昏睡状態となり危険な状態を呈する。
  - d × ニフェジピンは、高血圧症の治療薬である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 127-128

- 86 **解答**: a, d  
 集団指導では対象者の関心を高めるために媒体を活用するとよい。指導目的や対象集団の特性に応じた媒体を選択する。
- a ○
  - b × 黒板の字を300人の集団にみせることは難しい。
  - c × スライド上映時は室内を暗くするので、幼児に使用すると怖がってしまうことがある。
  - d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 331-332

- 87 **解答**: c, d  
 3歳児歯科健康診査ではう蝕の罹患型をABC型に分け、さらにC型をC1型、C2型に区分している。写真の状態はランバントカリエスに罹患しており、下顎前歯部を含むその他の部位にもう蝕があり、罹患率はC2型に該当する。3歳児歯科健康診査ではA~C型の幼児だけでなく、O型でも歯の清掃が悪く指導を必要とする幼児はかかりつけ歯科医などで継続的な検診および保健指導、予防処置などを受けることが重要である。
- a × 重度う蝕に罹患しているので、まずは歯科治療を優先する。
  - b × 定期健診はすべての治療が終了したのちに行う指導である。
  - c ○ どのような罹患型でも日常的なセルフケアは大切である。
  - d ○ この幼児はランバントカリエスに罹患しているためただちに歯科医院を訪れ、治療を受けることが必要である。またこの型の者は全身的な原因も予測できることと、重度う蝕により全身的な機能低下をきたしていることが考えられるため、小児科医の受診もすすめる。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 258-259

## 解答・解説

- 88 **解答**: c  
 食事バランスガイドとは、1日に「何を」「どれだけ」食べたらよいかが目で見える食事の目安である。主食、副菜、主菜、牛乳・乳製品、果物の5グループの食品を組合せてバランスよく摂取できるよう、コマにたとえたイラストでわかりやすく表している。それらに「回転」「ヒモ」を合わせて食生活からの健康づくりも同時に示している。
- a × 主食は、炭水化物の供給源であるごはん、パン、麺などを主材料とする料理が含まれる。コマの最上部に描かれている。
  - b × 運動はコマの回転で表され、回転することでコマが安定するように人間にとっても運動は欠かせない。
  - c ○ コマの軸のように、水やお茶といった水分は食事の中で欠かせない存在である。
  - d × 菓子・嗜好飲料は、食生活の楽しみの部分であり、イラスト上ではコマを回すためのヒモとして表されている。適量を摂ることが大切である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 85-86

- 89 **解答**: a  
 栄養状態の不良は、入院期間の長期化や死亡率の増加につながる。このような問題を解決するために、NSTは始まった。
- a ○ NSTとは(Nutrition Support Team: 栄養サポートチーム)のことである。近年では多くの病院でNSTが構成され、歯科衛生士がチームの一員となることもある。
  - b ×
  - c ×
  - d ×

**文献**: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 116-117

- 90 **解答**: c  
 摂食・嚥下の過程は5段階に分類される。
- a × 先行期は食欲が生じて食物の情報が視覚、嗅覚により大脳に送られ、食物の性状を想像することから始まる。口腔に取り込んでよいものと判断すると、唾液、胃液の分泌準備が始まる。
  - b × 食物を口腔へ取り込んで、咀嚼して食塊を形成するまでの期である。
  - c ○ 口腔期は食塊が口唇から舌根部へ移動する相であり、写真は口腔期である。
  - d × 咽頭に入った食塊が食道に入るまでの期である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 110-111

- 91 **解答**: b, c  
 顎関節症は顎関節あるいはその付近に疼痛、関節の雑音および異常顎運動があるものの、顎関節部に炎症や骨構造の異常が認められないような慢性疾患である。原因としては、慢性の力学的異常刺激(外力、過度の開口、硬固物の咀嚼、異常な顎運動、不適合な修復物、咬合異常など)、咀嚼筋の異常緊張および精神的ストレスなどが考えられている。
- a × 女性に多い。
  - b ○ 突発性の場合は疼痛が初発する。
  - c ○
  - d × 構造上の異常は認められないような慢性疾患を顎関節症という。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 45-46

最新歯科衛生士教本 歯科補綴 42-45

## 解答・解説

- 92 **解答**: c, d  
 地域における歯科保健計画を立案するにあたっては、まず対象集団の特性を把握し、関連職種との連携をはかることが大事である。その事業展開は、計画 (plan)、実施 (do)、評価 (check)、改善 (action) という進め方 (PDCA サイクル) が基本となる。媒体の種類や物品の購入方法は、対象者や人数、実施場所、内容などが決定した後に検討する。
- a ×  
 b ×  
 c ○  
 d ○
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 232-235

- 93 **解答**: a, c  
 在宅歯科診療時のモニタリングにパルスオキシメーターを使用することがある。パルスオキシメーターは経皮的動脈血酸素飽和度 (SpO<sub>2</sub>) を計測する装置である。一般的にプローブを指先にはさんで計測するものが多い。
- a ○  
 b × 動脈血中のヘモグロビンのうち何%が酸素と結びついているかを表したものである。  
 c ○  
 d × 90%未満が持続する場合や、平常時の3~4%以上の低下を認めた場合は、低酸素血症の発症が考えられるため、すみやかに医師へ報告する必要がある。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 89

- 94 **解答**: d  
 介護保険制度は、高齢化の進展に伴う介護高齢者の増加、家族の介護負担の増加、女性就労者の増加などの変化に対応するために、介護サービスの社会化の目的で、平成12年4月にスタートした。
- a × 保険者は市町村である。  
 b × 第1号保険者は市町村の区域内に住所を有する65歳以上の者、第2号保険者は40歳以上65歳未満の医療保健加入者である。  
 c × 要介護認定は市町村が行う。審査の際にかかりつけ医の意見を聞く。  
 d ○
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 18-23

## 歯科診療補助論

- 95 **解答**: a, b  
 歯科訪問診療においては、治療に必要な器材を持ち運びしやすいボックスなどに整理して持参する。また、バイタルサインの確認のために体温計や血圧計、緊急薬品なども常時携帯しておく必要がある。義歯の調整の場合は、適合試験紙、咬合紙、プライヤー、切削用器具としてストレートハンドピース、スタンプバー、研磨用バーなどを準備する。
- a ○ 義歯調整時に使用する切削器具である。  
 b ○ 咬合紙、咬合紙ホルダーである。  
 c × ターピンである。総義歯のため必要ない。  
 d × ホウプライヤーである。総義歯のため必要ない。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 160-161

- 96 **解答**: d  
 薬品は保存状況により変質することがあるので、添付文書などに示された条件に従い保管する。
- a ○ 有効期限の切れた薬品は捨てること。同じ薬品が多くあるときは、有効期限が短いものから使用する。  
 b ○ エーテル、オキシドールなどは冷暗所で保管する。  
 c ○  
 d × ヨードチンキは光線を避けなければならない、着色瓶で保管する。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 37-39

## 解答・解説

- 97 **解答**: a, c  
 a ○  
 b × 接着性レジンセメントには4-META系とリン酸エステル系がある。4-META系の粉末成分はPMMAで、リン酸エステル系は無機質フィラーである。  
 c ○  
 d × 粉末成分はフルオロアルミノシリケートガラスで、この原料はシリカ、アルミナ、フッ化カルシウム、フッ化アルミニウムなどである。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 107、110、112-113、117

- 98 **解答**: a, d  
 接着性レジンセメントは唾液がある湿潤した口腔内で、歯質と接着材が安定した接着機能を維持でき、動揺歯固定やダイレクトボンドブリッジ、補綴物の接着に有効である。症例に応じて正確な取り扱いができることが必要である。
- a ○ 接着方法には筆積み法と混合法がある。暫間固定は筆積み法で行う。  
 b × 歯面処理剤にはエナメル質の処理剤と象牙質の処理剤がある。  
 c × 接着阻害因子を除去するため、歯面清掃にはフッ化物を含まない研磨材を使用する。  
 d ○ モノマー液は揮発性が高いので使用後はただちにキャップをする。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 115-117

- 99 **解答**: a  
 マイクロモーター・コントラ用 (CA) バーの刃部の基本形態は、ラウンド型 (球形)、インバーテッド (倒円錐形)、ストレートフッシャー (円柱形)、テーパードフッシャー (先が徐々に細くなった円柱形) に分類される。バーの形態と用途について理解することが必要である。
- a ○ ラウンドバーである。う窩の開拡、軟化象牙質除去、抜髄時の髄腔穿孔、天蓋除去、レジン窩洞の円型穿下付与 (円型アンダーカット形成) に用いられる。  
 b × インバーテッドコーンバーである。窩洞の角型穿下付与 (角型アンダーカット形成)、窩底の平坦化に用いられる。  
 c × テーパードフィッシャーバーである。インレー窩洞の形成、窩縁傾斜面の形成に用いられる。  
 d × フッシャーフラットエンドである。窩洞の箱型保持形態の形成に用いられる。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 32-33

- 100 **解答**: a  
 修復時には、正しい隣接面形態、接触点を付与するため、また、窩洞への修復物の密着をはかるため、さらに十分な填塞圧をかけて窩壁への密着を確実にするためにさまざまな隔壁材が使用される。
- a ○ V級窩洞などの歯頸部に用いる。レジンやセメントなどの修復時に圧接成形するのに用いる。  
 b × III級およびIV級窩洞の修復時の圧接成形に用いる。セルロイドやポリエステルでできた薄いフィルム状のもので、直と曲の2種類がある。  
 c × アイボリー式セパレーターはIII級窩洞の填塞と形成を容易にするために用いる歯間分離用器材である。  
 d × II級窩洞に用いる。歯冠の周囲をバンドで囲み、複雑窩洞を単純窩洞にして填塞と形成を容易にする。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 保存修復学・歯内療法 30、92-95、106-110  
 最新歯科衛生士教本 保存修復学・歯内療法学 83-86

- 101 **解答**: b, c  
 全部床義歯の人工歯排列は、咬合採得を行う場合に決めた仮想咬合平面を基準にする。
- a × 上下顎咬合床唇側面を正面からみた顔の正中を示す。  
 b ○ 瞳孔線とは、遠方を直視したときの左右の瞳孔を結んだ線のことで、顔を正面から観察した場合、仮想咬合平面と平行になる。  
 c ○ 鼻聴道線とは、鼻翼下縁と耳珠点を結ぶ仮想線のことで、カンベル平面ともいう。  
 d × 左右側いずれかの眼点と左右の耳点を含む平面である。
- 文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科補綴 10-11、95-96

## 解答・解説

102	<p><b>解答:</b> a, d</p> <p>止血薬(剤)は、局所的に適用するものと全身的に適用するものがある。局所止血薬は、酸化セルロース、ゼラチンスポンジ、コラーゲン製剤、トロンピン製剤、フィブリン製剤、アドレナリン、骨ろう(蜜ろう)などがある。</p> <p>a ○ b × 全身的に適用する止血薬である。 c × 全身的に適用する止血薬である。 d ○</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 166-168</p>
103	<p><b>解答:</b> a, d</p> <p>笑気吸入鎮静法は笑気(亜酸化窒素)と酸素を吸入させる。ボンベは笑気(亜酸化窒素)と酸素が別々のボンベから供給されるものと混合充填してあるものがある。</p> <p>a ○ ボンベは全体が黒色である。 b × c × d ○ ボンベは上半部が青色、下半部が灰色である。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 229-231 ポイントチェック⑤ 第4版 119</p>
104	<p><b>解答:</b> b, d</p> <p>ディボンディング時の予防的ケアとして、①歯面のクラック、②歯質の破損、③ブラケット除去部周辺の白濁の兆候について観察し、④フッ化物塗布を行い歯質の強化をはかる、⑤定期的にPTCを行う、といった対策を行っていく必要がある。</p> <p>a × b ○ リムーバーでブラケット、ボンディング材を除去する際に歯面にクラック(ひび)が入ることがある。 c × d ○ ブラケット装着時の口腔清掃不良のため周辺に白濁が起こることがあるので確認する必要がある。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 146-147</p>
105	<p><b>解答:</b> a, c</p> <p>矯正では、装置を作製したり、調節するために多くの種類のプライヤーが使用される。これらのプライヤーは大きく分けると矯正線屈曲用、矯正線切断用、バンド作製用、矯正線を歯に固定するためのプライヤーなどがある。</p> <p>a ○ ①はヤングプライヤーであり、矯正装置の主線、弾線、誘導線の屈曲に多用される。比較的太い(0.5 mm以上)ワイヤーの屈曲に使用される。 b × ②はバードピークプライヤーであり、エッジワイズ装置(マルチブラケット)で使用する丸線を屈曲する鉗子である。 c ○ ③はムシャーカンタリングプライヤーであり、バンドに豊隆をつける鉗子である。 d × ④はバンドリムービングプライヤーであり、バンドを除去する鉗子である。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 127-132</p>
106	<p><b>解答:</b> d</p> <p>舌のトレーニング(筋機能療法)は、不正咬合の原因となる口腔習癖を除去する目的で行われる。おもに舌や咬筋、口輪筋の強化や正しい嚥下方法を習得させるために行う。</p> <p>a ○ b ○ c ○ d × 咬合訓練は筋機能療法とは関係がない。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科矯正 173-181</p>

## 解答・解説

107	<p><b>解答:</b> c, d</p> <p>摂食機能訓練は間接訓練と直接訓練の2つに大別できる。介護予防における摂食・嚥下機能訓練は、摂食機能療法の間接(基礎)訓練が中心となっている。</p> <p>a × 直接(摂食)訓練である。 b × 直接(摂食)訓練である。 c ○ 間接(基礎)訓練である。嚥下促進訓練の1つとして寒冷刺激訓練(咽頭部のアイスマッサージ)がある。 d ○ 間接(基礎)訓練である。摂食・嚥下に関わる器官である頸部・口腔諸器官のリラクゼーションや関節の可動域を広げるとともに、呼吸や構音の一部を含めた訓練である。食前の準備体操で行われる。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 168-173 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 125-129</p>
108	<p><b>解答:</b> a</p> <p>てんかん発作はほとんどが数分以内に止まるので、見守るだけでよい。しかし、重積状態が起こった場合には生命に危険が及ぶことがあるのでバイタルサインを確認し、専門医の処置が必要となる。てんかん発作時の対応には、①怖がったり、体をゆすったり、抑制しない。②ほとんどの発作は数分以内に止まるので見守るだけでよい。③舌をかまないようにと口に割り箸などを入れない。④あわてて救急車を呼ばない。⑤意識が戻らず次の発作が起きる、10分以上続く発作の際には救急治療が必要である。</p> <p>a × あわてて救急車を呼ばない。 b ○ c ○ d ○</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 44-45</p>
109	<p><b>解答:</b> a</p> <p>放射線を扱う作業は、作業者の被曝を可能な限り低減することを原則とする。</p> <p>a × 温度は特に関係ない。 b ○ 線源および患者からできるだけ離れる。 c ○ 防護衣や防護衝立など線源との間に遮蔽物を設ける。 d ○ 高感度フィルムやデジタル撮影システムを用いて照射時間を短くする、失敗による再撮影を避けるなど、放射線を扱う時間を短くする。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科放射線 18-19 ポイントチェック⑤ 第4版 176</p>
110	<p><b>解答:</b> c, d</p> <p>血液を用いる検査には、血液学的検査、血液凝固・線溶系検査、血清検査、免疫・血清検査がある。血液学検査では、血球を用いて、血球の数や大きさ、血球の比率などを調べる検査である。</p> <p>a × 急性炎症では白血球総数が増加する。 b × 貧血は末梢血液の一定量に含まれる赤血球数、ヘモグロビン濃度が正常以下に減少している状態である。 c ○ d ○</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 臨床検査 24-32</p>

## 人体（歯・口腔を含む）の構造と機能

111 解答：a

頭蓋を構成する骨の大部分は縫合で結合し、頭蓋底の一部は軟骨性の連結で結合している。また、下顎骨は側頭骨と顎関節により連結し、舌骨は靭帯や筋により頭蓋底と連結している。頭蓋の上面には正中部に前後に走る矢状縫合（左右の頭頂骨間の縫合）と、矢状縫合の前端で左右（前頭方向）に走る冠状縫合（前頭骨と左右頭頂骨間の縫合）と、矢状縫合の後端で左右下方に走るラムダ縫合（後頭骨と左右頭頂骨間の縫合）がみられる。また、頭蓋の側面で頭頂骨と側頭骨の間には鱗状縫合が認められる。新生児ではこれらの部位は骨の間が離れて、結合組織の膜でふさがれて、骨化していない泉門（大泉門、小泉門、前側頭泉門、後側頭泉門）がみられる。

- a ○  
b ×  
c ×  
d ×

文献：最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 21-23

112 解答：b

頭蓋骨には、神経や血管が入り出するための多数の孔や裂隙がある。矢印の孔は、上顎骨上顎体前面に開口する眼窩下孔であり、眼窩下神経、眼窩下動脈が通る。

- a × 眼窩上孔は眼窩の上縁をつくる前頭骨に開口する孔で、眼神経の枝の眼窩上神経が通る。  
b ○  
c × 下眼窩裂は眼窩の奥の下面にある裂隙で、眼窩下神経と眼窩下動脈などが通る。そのほか頬骨神経などの通路でもある。  
d × オトガイ孔は下顎骨外面に開口する孔で、オトガイ神経、オトガイ動脈が通る。

文献：最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 20

113 解答：d

- a × 横紋はエナメル小柱の縦断像にみられる 3~5 μm 間隔の縞模様で、1日周期の成長線である。  
b × エナメル小柱は有機質に富む小柱鞘で囲まれたヒドロキシアパタイトの結晶の束で、エナメル質の基本構造である。  
c × シュレーゲル条は、エナメル小柱の縦断帯と横断帯が交互に配列した縞模様である。  
d ○ レチウス条（並行条）は、研磨標本でみられるほぼ1週間周期で形成される褐色の成長線である。

文献：最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 219-225

114 解答：b

骨口蓋は上顎骨の口蓋突起と口蓋骨の水平板からなり、鼻腔と口腔を隔てている。口蓋骨の水平板の前縁は上顎骨の口蓋突起と連結し、写真の矢印で示す横口蓋縫合をつくる。左右の口蓋骨の水平板および左右の上顎骨の口蓋突起は正中口蓋縫合により結合している。正中口蓋縫合の前端部には切歯窩があり、左右の切歯管が開く。

- a ×  
b ○  
c ×  
d ×

文献：最新歯科衛生士教本 口腔解剖学・口腔組織発生学・口腔生理学 25-26

115 解答：b、c

- a × レバン（ポリフルクタン）はフルクトース（果糖）が多数結合した歯垢中の菌体外多糖類である。  
b ○ マルトース（麦芽糖）はグルコース（ブドウ糖）が2つ結合した二糖類である。  
c ○ パラチノースはグルコース（ブドウ糖）とフルクトース（果糖）が結合したスクロース（ショ糖）の異性体である。  
d × アスパルテームはフェニルアラニンとアスパラギン酸からなるペプチドである。

文献：新歯科衛生士教本 栄養指導・生化学 48-49、104

116 解答：a、b

腎の機能単位であるネフロンは腎小体と尿細管に分かれ、さらに腎小体は糸球体とそれを囲むボーマン囊からなる。尿生成の過程についてみると、血液は糸球体で濾過され、ボーマン囊に出て原尿となる。原尿はさらに尿細管で再吸収と分泌を経て最終的に尿となって腎盂へ出る。その結果、1日約180 Lの原尿は約1 Lの尿となる。

- a ○ 糸球体である。  
b ○ ボーマン囊である。  
c × 近位尿細管である。  
d × 集合管である。

文献：最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 210-215  
新歯科衛生士教本 生理学 76-77

117 解答：b、c

卵巣と子宮内膜にみられる周期的変化、すなわち性周期は下垂体前葉から分泌される卵胞刺激ホルモンと黄体刺激ホルモン、卵巣から分泌されるエストロゲン（卵胞ホルモン）とプロゲステロン（黄体ホルモン）によって調節される。

- a × グルカゴンは膵臓のランゲルハンス島のα細胞から分泌され、血糖値を上昇させる。  
b ○ エストロゲンは子宮の増殖期に子宮内膜の肥厚を促進する。  
c ○ プロゲステロンは分泌期に子宮内膜からの粘液の分泌を促進する。  
d × ノルアドレナリンは副腎髄質から分泌され、交感神経の興奮時の働きと類似の作用をもつ。

文献：最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 237-240

118 解答：a

- a ○ 感覚が生じるのに必要な最小の刺激強度を閾値という。  
b × 一定の強さで持続的に刺激すると刺激への感度が変化することを順応という。  
c × 2つの強度の違いを感じることができる最小の差を弁別閾（識別閾）という。  
d × 各感覚受容器にはその受容器を最も低い閾値で反応させる刺激があり、それを適当刺激という。

文献：最新歯科衛生士教本 解剖学・組織発生学・生理学 189-190  
新歯科衛生士教本 生理学 62

## 疾病の成り立ち及び回復過程の促進

119 解答：c

象牙質には生理的条件下で形成されるもの（外套象牙質、原生象牙質、生理的第二象牙質）と、病的条件下で形成されるもの（第三象牙質、象牙質橋）がある。第三象牙質では、象牙細管が少ない、細く不規則な波状を呈しているなどの特徴がみられる。

- a × 象牙質橋は、生活歯髄切断を行った後に、歯髄切断面を覆って歯髄腔を閉鎖するように形成される象牙質をさす。  
b × 歯の形成、萌出の過程で歯根が完成するまでに形成された象牙質は、原生象牙質とよばれる。  
c ○ 生理的第二象牙質は、歯根が完成された後に形成された象牙質のうち、加齢に伴う生理的刺激に反応して形成される象牙質である。  
d × 第三象牙質（病的第二象牙質、修復象牙質、補綴象牙質ともよばれる）は、う蝕や咬耗などの刺激に対する反応の結果として形成される。

文献：最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学 102-103

## 解答・解説

120 解答: a, c

抜歯創の治癒は歯肉組織と歯槽骨の両者の治癒によって達せられる。他組織における創傷治癒と比較してその治癒過程を知っておく必要がある。

- a ○ 抜歯後約1週間で凝血塊は肉芽組織によってほぼ置き換えられる。
- b × 抜歯後2~4日目になると、抜歯窩に形成された凝血塊に向かって抜歯創周辺から線維芽細胞と内皮細胞が増殖し始める(肉芽組織の形成と器質化の開始)。
- c ○ 歯槽骨骨縁部には破骨細胞が現れ骨吸収がみられる。
- d × 創面は抜歯後約1週間後になると再生上皮で覆われる。なお、抜歯後約15日~1か月で抜歯窩は新生骨梁で満たされるが、以降も骨改造は継続し、治癒の完了には2~6か月を必要とする。

文献: 最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学 41

121 解答: c

酸の作用による歯の実質性欠損を侵蝕症または酸蝕症といい、前歯の唇側面(特に下顎)に多く、数歯が同時に侵される。多量の無機酸類を扱う従業員や、酸性の食品を多量に摂取する人にみられる。

- a × 咬耗は咬合や咀嚼時の摩擦により生じる歯質の消耗である。
- b × 摩耗は咬合力以外の機械的作用による歯質の摩滅である。
- c ○ 侵蝕症(酸蝕症)は酸の作用による歯の実質性欠損である。
- d × 歯のフッ素症(斑状歯)はエナメル質形成期間中のフッ素の過剰摂取などにより生じる歯の形成不全である。

文献: 最新歯科衛生士教本 病理学・口腔病理学 84

122 解答: d

細菌の細胞壁構造とグラム染色の関係について理解する。

- a × グラム染色では染色・観察できない。
- b × グラム染色では染色できないが、菌体周囲が抜(透)けてみえる。
- c × グラム染色では染色できないが、菌体内の芽胞は抜(透)けてみえる。
- d ○ グラム染色の陽性・陰性は細胞壁の構造によるものである。

文献: 最新歯科衛生士教本 微生物学 18-19

123 解答: a

免疫グロブリンには分子量や性状の異なる5種類のクラス(IgA, IgD, IgE, IgG, IgM)があり、その機能や体内での分布にそれぞれ特徴がある。

- a ○ IgAは唾液、母乳あるいは小腸粘膜の分泌液中では最も多い。
- b × IgEは血清中で含有量が最も少ない。
- c × IgGは血清や組織液中に最も多量に存在する。
- d × IgMは血清中の免疫グロブリンの10%を占めている。

文献: 最新歯科衛生士教本 微生物学 92-94

124 解答: a, b

- a ○ アドレナリンは血管収縮作用を示すため、局所麻酔薬に添加して使用する。
- b ○ フェリプレシンは血管収縮作用を示すため、局所麻酔薬に添加して使用する。甲状腺機能亢進症、糖尿病、高血圧症などがあり、アドレナリン添加の局所麻酔薬が使用できない場合に、フェリプレシン添加の局所麻酔薬を使用することがある。
- c × アセチルコリンは神経伝達物質であり、ムスカリン作用とニコチン作用を示す。
- d × プロトロンビンは血液凝固因子である。

文献: 最新歯科衛生士教本 薬理学 65

## 解答・解説

125 解答: d

薬事法では毒薬・劇薬の表示や保管などを規制している。黒地に白字で薬品名の書かれたラベルが貼ってあることから、この薬品は毒薬であることがわかる。劇薬は白地に赤枠、赤色の文字で薬品名を表示する。

- a ×
- b ×
- c ×
- d ○ 毒薬は劇薬や普通薬との同時格納を避けるとともに、必ず鍵をかけて保管しなくてはならない。

文献: 最新歯科衛生士教本 薬理学 6-7

126 解答: c, d

アスピリンは代表的な解熱鎮痛薬である。またアスピリンには血液凝固を抑制する作用があり、血栓症の予防に使用される。

- a ×
- b ×
- c ○
- d ○

文献: 最新歯科衛生士教本 薬理学 96-97

## 歯・口腔の健康と予防に関わる人間と社会の仕組み

127 解答: d

歯周疾患は歯周組織(歯肉、歯根膜、歯槽骨、セメント質)の病変に対する総称である。したがって、歯周疾患の指数はそれぞれ独自のねらいと表現方法をもっているが、CPIはなかでも再現性が高くなるように工夫されている。CPIプローブの目盛りの区分は(0.5) -3-2-3-3 mmとなっている。図のポケットデプスは約7.5 mmである。

- a × コード1はポケットの深さが3 mm以内で、プロービングにより出血する。
- b × コード2はポケットの深さが3 mm以内で、歯石が存在する。
- c × コード3はポケットの深さが4~5 mmである。
- d ○ コード4はポケットの深さが6 mm以上である。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 108-109

128 解答: d

歯磨剤には基本成分(研磨剤、保湿剤、粘結剤、発泡剤、香料)と薬用成分(う蝕や歯周疾患予防など)がある。

- a × 保湿剤である。
- b × 歯肉の収斂作用や血行促進作用があることから、歯周疾患対策として用いられる。
- c × 消毒薬である。
- d ○ 歯質強化のために用いられるフッ化物である。

文献: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 210-211

129 解答: a, b

プラーク形成初期には好気性菌優勢であるが、成熟に伴い嫌気性菌が増加する。

- a ○ 減少する。
- b ○ 好気性グラム陽性菌である *Nocardia* は減少する。
- c × 増加する。
- d × グラム陰性嫌気性桿菌である *Fusobacterium* は増加する。

文献: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 110-115

## 解答・解説

- 130 **解答**: a, d  
 歯周疾患に罹患する前に行うのが第一次予防になる。  
 a ○  
 b × 第二次予防である。  
 c × 第二次予防である。  
 d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 189-190

- 131 **解答**: c, d  
 基本統計量にはデータを代表するものとデータのばらつきを表すものがある。  
 a × 最頻値は集団の代表値の1つである。  
 b × 相関係数は2つの変数の相関の強さを示す。  
 c ○  
 d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 91-94  
 新歯科衛生士教本 口腔衛生学・歯科衛生統計 208

- 132 **解答**: a  
 診査の結果、う蝕罹患型に応じた指導が実施される。  
 a ○ A型は上顎前歯部のみ、または白歯部のみとう蝕がある。  
 b × B型は白歯部および上顎前歯部とう蝕がある。  
 c × C型は白歯部および前歯部すべてとう蝕がある(下顎前歯部のみとう蝕を認める場合も含める)。  
 d × O型はO1型、O2型に分かれ、双方とも現在う蝕はないがO1型は口腔環境がよい場合、O2型は悪い場合である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 257-258

- 133 **解答**: c  
 DMFT指数は一人平均う蝕経験歯数である。集団のDMF歯の合計を被検者で除して求める。DMFS指数は一人平均う蝕経験歯面数である。  
 a ×  
 b ×  
 c ○  
 d ×

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 132-134  
 最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 38-40

- 134 **解答**: c  
 2013年の上位3死因(悪性新生物、心疾患、肺炎)による死亡数は全死亡数の約55%を占めている。  
 a ×  
 b ×  
 c ○  
 d ×

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 29-30

## 解答・解説

- 135 **解答**: d  
 ノーマライゼーションは、①地域とともに生活する、②社会的自立を促進する、③バリアフリー化(障壁の除去)をはかるなどを基本的な理念とした障害者プランである。  
 a ×  
 b ×  
 c ×  
 d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 229-230

- 136 **解答**: a  
 医の倫理、医療行為や地域保健医療に関する声明や指針などを理解する。  
 a ○ ヘルスプロモーションについての声明である。  
 b × 臨床研究の倫理的規制について述べたものである。  
 c × プライマリーヘルスケアについての世界的指針である。  
 d × 医学実験における人権の尊重について示したものである。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論 3

- 137 **解答**: a, d  
 疫学は、疾病の分布を検討することによりその原因を解明しようとする学問である。  
 a ○ 記述疫学は病因に対する仮説設定を目的としている。仮説の検証を行うのが分析疫学であり、患者対照研究やコホート研究などがある。  
 b × 患者対照研究は過去にさかのぼる後ろ向き研究である。  
 c × コホート研究は縦断研究である。  
 d ○ 介入研究は健康に影響を与える可能性のある要因を対象者に曝露させる。したがって、対象者の同意を得ることが必須である。さらに、倫理審査委員会などで研究内容が検討する必要がある。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健情報統計学 22-33

- 138 **解答**: c  
 健康増進法はすべての国民の健康増進をはかり、国民保健の向上を目的として2002(平成14)年に制定された。  
 a × すべての国民が対象である。  
 b × 国民健康・栄養調査を定めている。  
 c ○ 食生活や運動、飲酒、喫煙などの生活習慣の改善を掲げている。  
 d × 要介護度認定は介護保険法により規定されている。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 242-243

- 139 **解答**: c  
 大気汚染物質には、汚染源から直接大気中に排出される一次汚染物質と、大気中で新たに生成される二次汚染物質とがある。  
 a × おもに自動車の排ガスとして排出される一次汚染物質である。  
 b × 正常空気中におよそ0.03%含まれており、室内空気の汚染指標となる。  
 c ○ 光化学オキシダントは、炭化水素類や窒素酸化物と紫外線との光化学反応により大気中で生成される。  
 d × ディーゼル車の排ガスなどに含まれる汚染物質である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 37-39

## 解答・解説

140	<p><b>解答：c</b></p> <p>近年、精神保健の重要性がますます高まっている。患者調査などによる疾病別受療者割合を理解する。</p> <p>a × b × c ○ 全体の60%以上を占めている。 d ×</p> <p><b>文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 312-313</b></p>
141	<p><b>解答：d</b></p> <p>職業性疾病の要因は、物理的要因、化学的要因、生物学的要因、作業態様要因および社会的要因に分類される。</p> <p>a ○ 紫外線による健康障害としては、皮膚障害なども知られている。 b ○ 潜函病は急激な減圧によって起こる。 c ○ チェーンソー使用者などにおいて、局所振動による白ろう病がみられる。 d × じん肺症はケイ酸や石綿などの粉じんの長期にわたる吸入により発症する。</p> <p><b>文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 290-293</b></p>
142	<p><b>解答：d</b></p> <p>基礎代謝量とは生命を維持するために必要な最小のエネルギー量のことで、その値は、年齢、性、体格、体温、栄養状態、妊娠、ホルモンによって影響される。</p> <p>a × 女性は同体重の男性より6~10%低い。 b × 睡眠時の代謝量と同じである。 c × 体重1 kgあたりでは1~2歳が最高で、1日あたりでは男性15~17歳、女性13~14歳で最高に達し、以降、年齢とともに減少する。 d ○ チロキシン（甲状腺機能亢進時）やアドレナリン（精神的緊張時）は基礎代謝量を高める。</p> <p><b>文献：最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 132-133</b></p>
143	<p><b>解答：d</b></p> <p>ビタミンは微量で体の働きを円滑にし、体内ではつくることのできない有機化合物である。歯の発生と形成は、すでに妊娠期間中から開始されており、そのためビタミンの欠乏は歯の形成に悪影響を及ぼす。歯の形成に深く関与するビタミンは、A、C、Dである。</p> <p>a × ビタミンAは外胚葉組織の機能保全に関与するビタミンで、欠乏するとエナメル質形成不全を引き起こす。 b × ビタミンCは中胚葉組織の機能保全に関与するビタミンで、欠乏すると象牙質形成不全を引き起こす。 c × ビタミンEは抗酸化作用をもつ。リン酸イオンの供給を促進する作用は認められていない。 d ○ ビタミンDは小腸粘膜上皮細胞に作用してカルシウム結合タンパクの生合成を促進し、小腸からのカルシウム吸収を高め骨形成や歯の石灰化の促進に寄与する。</p> <p><b>文献：最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 157-159</b></p>
144	<p><b>解答：b</b></p> <p>a × コラーゲンはグリシン（全アミノ酸含量の1/3）やプロリンなどの非必須アミノ酸を多く含み、必須アミノ酸含量は少ない。 b ○ コラーゲンは熱変性すると3本鎖ヘリックス構造が壊れ、ゼラチンとよばれるランダムコイル状の構造に変化する。 c × エナメル質にはコラーゲンは存在しない。 d × コラーゲンの生合成にはビタミンCが必須で、欠乏すると壊血病になる。</p> <p><b>文献：最新歯科衛生士教本 栄養と代謝 51-53、56</b></p>

## 解答・解説

## 歯科衛生士概論

145	<p><b>解答：a</b></p> <p>歯科衛生士の業務記録作成義務は、歯科衛生士法施行規則（記録の作成および保存）第18条に「歯科衛生士は、その業務を行った場合には、その記録を作成して3年間これを保存するものとする」と定められている。</p> <p>a × 保存期間は3年間である。 b ○ c ○ d ○</p> <p><b>文献：最新歯科衛生士教本 歯科衛生士と法律・制度 第2版 37-38</b></p>
-----	---

## 臨床歯科医学

146	<p><b>解答：b、c</b></p> <p>貧血の有無はまず血液一般検査を行い、分類には血清鉄、ビタミンB<sub>12</sub>や葉酸を検査する。血液一般検査には、赤血球数、ヘモグロビン値、ヘマトクリット値などの検査が含まれる。</p> <p>a × 白血球は、生体が細菌によって感染すると増加する。 b ○ 赤血球の生成に必要な栄養素で欠乏により悪性貧血が起こる。 c ○ d × 総コレステロールは脂質の代謝の検査である。</p> <p><b>文献：最新歯科衛生士教本 臨床検査 26-27、71-72</b></p>
-----	---

147	<p><b>解答：a、b</b></p> <p>エックス線は、物質にあたると一部は吸収、散乱を起こし、残りは透過する。</p> <p>a ○ 物質にあたると散乱する。 b ○ 物質を透過する。 c × 磁場の影響を受けない。 d × エックス線は真空中で、光や電波と同じ速さ（30万 km/秒）である。</p> <p><b>文献：最新歯科衛生士教本 歯科放射線 20-21 新歯科衛生士教本 歯科放射線学 10-12</b></p>
-----	--

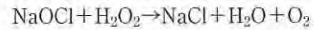
148	<p><b>解答：d</b></p> <p>回転切削器具にはマイクロモーター用とエアタービン用とに大別できる。スチールバーはマイクロモーターに装着して使用する。スチールバーには球状（ラウンドバー）、倒円錐形状（インバーテッドコーンバー）、平頭裂溝状（ストレートフィッシャーバー）、先端裂溝状（エンドカッティングバー）、尖形裂溝状（テーパードフィッシャーバー）などの形態がある。</p> <p>a × 平頭裂溝状スチールバー、尖形裂溝状スチールバーなどを用いる。 b × 平頭裂溝状スチールバー、尖形裂溝状スチールバーなどを用いる。 c × 窩縁斜面の付与はホワイトポイントや球状のダイヤモンドポイントなどを用いる。 d ○ う蝕象牙質の除去のほか、窩洞の円形穿下付与、金箔修復窩洞の起始点付与、天蓋・髓角の除去などに用いる。</p> <p><b>文献：新歯科衛生士教本 保存修復学・歯内療法学 45-48</b></p>
-----	--

149	<p><b>解答：a、b</b></p> <p>a ○ 材質に強靱な材料を使用できるため、咬合圧負担の多くかかる場所に用いることができる。 b ○ 形態をろう型の段階で任意に調整できるので複雑な形態に対応できる。 c × 技工室で、作業模型の作製からろう型調整を経て鑄造後、インレーの仕上げ・研磨までを行う。 d × ケイ酸セメント（シリケートセメント）は歯冠セメント修復材である。合着には、リン酸亜鉛セメント、カルボキシレートセメント、ガラスアイオノマーセメント、接着性レジンセメントが用いられる。</p> <p><b>文献：最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 63-68</b></p>
-----	---

## 解答・解説

150 解答：a、c

根管拡大・形成により、一応機械的な根管清掃は終了する。しかし、リーマーやファイルによる切削片などが根管内に残存する可能性が十分あるために、化学的薬剤を使用して根管を洗浄する。一般には、次亜塩素酸ナトリウム溶液と過酸化水素水（オキシドール）の交互洗浄が行われている。ルートキャナルシリンジを2個準備し、各薬剤を別々のシリンジにとり、各シリンジを交互に根管内に使用する。次亜塩素酸ナトリウム溶液を過酸化水素水と作用させると、発生期の酸素を遊離するために、発泡作用が生じ、根管清掃効果を高める。その反応は、次のように考えられている。



- a ○  
b ×  
c ○ 次亜塩素酸ナトリウムは有機質溶解剤であり、根管内の有機物質を溶解、除去する作用がある。  
d ×

文献：最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 156-158

151 解答：c、d

根管充填材は、根管治療の最終処置として根管を封鎖し、根尖創傷部の保護および病変の治癒促進を目的として使用される。

- a × 充填後の安定性が要求される。  
b × 必要に応じて撤去可能であることが望ましい。  
c ○ 根尖周囲の組織に接触するため、組織親和性が要求される。  
d ○ 充填後の状態の確認のために、エックス線造影性は必要である。

文献：最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 161-162

152 解答：b、d

アペキソゲネーシス（apexogenesis）とは根未完成の幼若永久歯に対して行われる方法で、感染が根部まで波及していない症例に適応となる。歯冠部の病的歯髄を除去して根部歯髄を保存することにより歯根の成長が継続し根尖を形成させる方法である。使用薬剤、器具およびアペキシフィケーション（apexification）との違いなど正確に理解しておく必要がある。

- a × 硬組織形成による閉鎖は数か月以上を要する。よって、水酸化カルシウム製剤を暫間的に貼付した後に、長期間経過観察が必要となる。  
b ○ アペキソゲネーシスは有髄の根未完成歯に適用される生物学的根尖閉鎖術である。なおアペキシフィケーションは失活歯に用いられる方法である。  
c × アペキソゲネーシスは歯根の形成を促進させる術式なので、歯根の外部吸収は生じない。  
d ○ 水酸化カルシウムは硬組織形成作用があり、根尖部の残存歯髄表層に貼付すると石灰化物の形成により歯髄の活性が維持され、歯根が完成する。

文献：最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 170

153 解答：b

- a × 歯の動揺度はピンセットを用いて診査する。  
b ○ 根分岐部の診査には分岐部内に挿入可能な屈曲したプローブを用いる。  
c × 咬翼法エックス線撮影によって軽度の歯槽骨吸収の有無は確認できるが、重度に進行した症例では不適當である。  
d × O'Leary の PCR は歯面を4面に分け、歯肉辺縁部の染色されたブラークの付着歯面を算定する。

文献：最新歯科衛生士教本 歯周治療 49-58  
最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 139-145

## 解答・解説

154 解答：b、d

- 超音波スケーラーの特徴、手技などについて理解する。  
a × 25,000～40,000回/秒で振動する。  
b ○ チップの先端は歯面に軽くあて、フェザータッチで使用する。  
c × 比較的大きな歯肉縁上歯石の除去に適している。  
d ○ 冷却用の噴霧注水により歯石片、血液などを洗浄できる。

文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 161-171

155 解答：d

- 無歯顎症例において上顎の咬合平面を決定する際に鼻聴導線（カンベル線）を基準とする。  
a × 上唇線は上顎前歯部人工歯の選択の参考とする。  
b × 正中線は人工歯排列の基準となる。  
c × 歯槽頂線は咬合床の蠟堤部分をつくる時や臼歯部の人工歯を排列するときの参考とする。  
d ○

文献：最新歯科衛生士教本 歯科補綴 10

156 解答：b

- a × 吸水性がなく、レジンと比べて着色が少ない。  
b ○ 金属による入射光の反射がないことから良好な色調再現性を有する。  
c × 金属による裏打ちがなく、脆性材料であるため、強度の確保のために歯質の削除量は多い。  
d × 吸水性がみられないことから表面性状の変化や変色がなく、ブラークの付着が少ない。

文献：最新歯科衛生士教本 歯科補綴 48

157 解答：a、b

- 金属床はレジン床に比べて、選択肢にある特徴のほか、設計の自由度が大きい、違和感が少ない、適合がよい、などの利点を有するが、重量が重い、高価といった欠点がある。  
a ○  
b ○  
c × 修理は困難である。  
d × 熱伝導性は大きい。

文献：最新歯科衛生士教本 歯科補綴 61-62

158 解答：d

- 咬合採得時に咬合床に描記される基準線について理解する。  
a ○ 正中線は顔面の正中を示す。  
b ○ 上唇線は上唇を最大に挙上させたときの上下唇下縁の位置を示す。  
c ○ 口角線は口角の位置を示す。  
d × 瞳孔線は左右の瞳孔を結んだ線で、咬合平面をこれと平行にする。

文献：最新歯科衛生士教本 歯科補綴 94-99

159 解答：b

- a × 上顎前歯用の鉗子は屈曲せず、まっすぐである。  
b ○ 上顎小臼歯用の鉗子は写真のように2回屈曲している。  
c × 下顎小臼歯用の抜歯鉗子の屈曲は1回である。  
d × 下顎大白歯用の抜歯鉗子の屈曲は1回である。

文献：最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 141-142

## 解答・解説

- 160 **解答：a**  
 歯の外傷は、歯の打撲、歯の脱臼、歯の破折に分けられる。外力により歯が歯槽窩から完全に脱落したものを完全脱臼、組織の一部が繋がって歯が歯槽窩に残っているものを不完全脱臼という。歯の破折は、破折部位により歯冠破折、歯根破折に区別され、破折の状況により縦破折、横破折などに分けられる。  
 a○ 完全脱臼では、歯槽骨骨折がなく、しかも脱落した歯の状態がよければ、歯牙再植術が行われる。  
 b× 歯冠破折した歯は、通常、歯髄処置後に歯冠修復が行われる。  
 c× 不完全脱臼では、歯をもとの歯槽窩の位置に整復し、レジン・ワイヤーで固定する。歯髄反応が少ない場合でも、すぐには抜髄せず回復することを期待して様子を見ることが多い。  
 d× 歯根破折において、歯根端切除術により歯を保存できる症例は少ない。条件としては、歯根の横破折であり、根尖側1/3以内の症例に限られる。歯根縦破折の場合は抜歯が適応される。

**文献：**最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 38-40

- 161 **解答：b、d**  
 不安、恐怖、緊張などが誘因となり息苦しさ、手指のしびれや特徴的な指先の屈曲、全身けいれんなどの症状を呈し、若い女性に好発する。一見重篤な印象を与えるが、通常意識の消失はみられない。速く浅い呼吸をしており換気過剰な状態であるため血中の二酸化炭素分圧は低下する（呼吸性アルカローシス）。  
 a× 交感神経系は亢進するため脈拍、血圧はやや上昇する。  
 b○  
 c×  
 d○

**文献：**最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 206-207

- 162 **解答：b**  
 a× 上顎歯槽基底部分外形線上の最深点である。  
 b○ 下顎のオトガイ正中断面像の最下点である。  
 c× 鼻骨前頭縫合の最前点である。  
 d× 眼窩縁の最下点である。

**文献：**最新歯科衛生士教本 歯科矯正 48-50

- 163 **解答：c**  
 a× 舌突出癖により開咬になりやすい。  
 b× 上顎前突や開咬になりやすい。  
 c○ 乳臼歯の早期喪失により第一大臼歯が近心移動し、側方歯群の萌出スペースが不足する。  
 d× 上唇小帯の付着異常による。

**文献：**最新歯科衛生士教本 歯科矯正 33-36

- 164 **解答：b、c**  
 a× アクチバトールは、構成咬合採得が可能な下顎後退を伴う上顎前突や機能性下顎前突、交叉咬合がおもな適応症で、叢生の改善には不向きである。  
 b○  
 c○  
 d× リップバンパーは、下顎大臼歯の遠心移動を目的とする。

**文献：**最新歯科衛生士教本 歯科矯正 70-76

## 解答・解説

- 165 **解答：b、d**  
 a× 適切な矯正力を歯に加えた場合、圧迫側では歯根膜に接した歯槽の表面から直接性吸収を生じる。  
 b○ 過度な矯正力を加えた場合、歯槽の表面から吸収が起こらないで骨髄側から穿下性の骨吸収を生じる。  
 c× 過度な矯正力では適切な矯正力を歯に加えた場合に比べて歯の移動は円滑でなくなる。  
 d○ 過度な矯正力を加えた場合、歯根膜が硝子様変性を生じる。

**文献：**最新歯科衛生士教本 歯科矯正 55-56

- 166 **解答：b**  
 a× 乳歯咬合完成期である。  
 b○ 第一大臼歯および永久前歯萌出開始期である。  
 c× 第一大臼歯萌出完了あるいは永久前歯萌出中または萌出完了期である。  
 d× 側方歯群交換期である。

**文献：**最新歯科衛生士教本 小児歯科 36-37

- 167 **解答：b、d**  
 小児患者への対応法にはさまざまな方法があるが、年齢や状態によって適した対応法をまとめて覚えておく。  
 a× 低年齢で不（非）協力的な小児には行動変容技法や鎮静・減痛下の対応法などにより対応する。  
 b○ 言葉によるアプローチすなわち小児への話しかけと声の調子の変化（ボイスコントロール）は一般的対応法として重要である。  
 c× ハンドオーバーマウス（HOM法）法は3歳以上で術者の話を聞き入れない正常発達小児に有効であり、自閉症児などの障害児には用いない。  
 d○ 3歳以上の恐怖心の強い小児にはtell show do法（TSD法）が有効である。

**文献：**最新歯科衛生士教本 小児歯科 99-105

- 168 **解答：a、b**  
 a○ 上顎骨は脳の発育と関係が深く、神経系の影響も受けるが、一般系型の発育をする。  
 b○ 生殖器系は、思春期に入ると急速に発育を開始する。  
 c× 一般系型は、筋肉、骨格、身長、体重の発育形式である。乳幼児期と思春期に著明な発育がありS字状を描く（シグモイドカーブ）。  
 d× リンパ系型は、胸腺、リンパ腺、内分泌の発育形式である。

**文献：**最新歯科衛生士教本 小児歯科 10-11

- 169 **解答：c**  
 高齢者の特徴を理解する。  
 a× 免疫力は20歳代でピークを迎え、その後低下する。  
 b× 水分量は予備能力や適応能力低下に伴い細胞内外の水分量は低下する。  
 c○ 体脂肪率は基礎代謝やエネルギー消費が少なくなるため、体内に蓄積される脂肪は増加する。  
 d× 運動機能は筋力低下に伴い低下する。

**文献：**最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 282  
 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 34-38

- 170 **解答：a**  
 a○ 咬耗は切縁や咬合面が磨滅した状態をいう。  
 b× 歯数はう蝕や歯周病により減少する。  
 c× 歯髄腔は生理的な第二象牙質と第三象牙質の添加により容積が減少する。  
 d× セメント質は歯根膜側に添加を続け、特に根尖に細胞を含むセメント質の添加量が多い。

**文献：**最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 39-40

## 解答・解説

- 171 解答：a、b
- a ○ 薬剤師は調剤や服薬指導を行う。
  - b ○ 言語聴覚士（ST）は言語訓練を行う。
  - c × 作業療法士（OT）は作業療法（リハビリテーション）を行い、介護指導は介護福祉士が行う。
  - d × 理学療法士（PT）は理学療法（リハビリテーション）を行い、視機能回復訓練は視能訓練士が行う。

文献：最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 1-4、152-153

- 172 解答：b
- a × スプーンなどの一口量は多く摂らない。
  - b ○ 介助者が声かけすることで食事を意識させる。
  - c × 詰め込みすぎず、状態を確認しながらペースを制御する。
  - d × 大きく開口させず、口唇から情報を与える。

文献：最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 126-129

- 173 解答：a、b
- a ○ う蝕や歯周病のリスクが高い患者が多いので、定期的にPMTCを行うことは重要である。
  - b ○ 手の使える範囲にもよるが、電動歯ブラシは有効であることが多い。
  - c × 本人磨きの際に、歯ブラシの工夫をするとよい。
  - d × 手が不自由なため、片方に手鏡を持ち口腔内を確認しながらのブラッシングは困難である。

文献：最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 86-91、156-162

## 歯科予防処置論

- 174 解答：d
- 仮性（歯肉）ポケットは歯肉が歯冠方向に腫脹し、歯肉溝が深くなったものでアタッチメントロスはない。真性（歯周）ポケットはポケット底部が根尖方向へ移動したもので、アタッチメントロスが生じている。
- a ○
  - b ○
  - c ○
  - d × 遊離歯肉である。

文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 28-29  
最新歯科衛生士教本 歯周治療 18  
最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 18-19

- 175 解答：d
- ウイルス性肝炎のうち、特にB型肝炎、C型肝炎は、血液や唾液を介して医療従事者に感染する危険性が高い。しかし、この場合の患者はHBs抗原が（-）を示しているため、現在はウイルスがなくなっている状態で、感染の危険性は全くない。HBs抗体（+）は、HBVに感染したことがあるか、B型肝炎のワクチン接種で抗体が産生したことを示す。
- a ○ B型肝炎感染の可能性にかかわらず、スクレーピングにあたり、一般的な感染予防の点からマスク、ゴーグル、手袋の着用は必要である。
  - b ○ グローブは術後ただちにはずし、グローブ内の微生物繁殖や、ピンホールの可能性があるため、十分な手洗いをする必要がある。
  - c ○ 軟組織の損傷に対する予防のため、術前に手術野を洗浄・消毒することが必要である。
  - d × 患者はB型肝炎感染の危険性はないため、特別な配慮は必要ない。

文献：最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 8-17、152-153

## 解答・解説

- 176 解答：a、c
- a ○
  - b × 付着歯肉は角化している。
  - c ○
  - d × リング状隆起はマッコールのフェストゥーンである。

文献：最新歯科衛生士教本 歯周治療 8-10、52  
最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 8-12

- 177 解答：a、b
- a ○ 歯肉溝の深さは、健康なもので1~2mm、最も浅いものは0.5mmということもある。
  - b ○ 外縁上皮は歯肉溝から歯肉縁を越え、すべての遊離歯肉を覆っている。
  - c × 歯肉溝上皮である。外縁上皮の延長で遊離歯肉を覆っているが、角化していない。
  - d × 接合上皮である。歯肉溝上皮に接続し、重層扁平上皮からなる。

文献：最新歯科衛生士教本 歯周治療 8-11  
最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 8-11

- 178 解答：b
- プロービングの目的は、歯周ポケットの深さ、出血の有無、歯肉の形態、歯根面の性状などの診査である。
- a × プラスチック製のプローブである。金属アレルギーの患者やインプラントのプロービングなどに用いられる。
  - b ○ 根分岐部用のプローブはファーケーションプローブといい、根分岐部が診査しやすいように彎曲している。
  - c × 一般的に用いられている歯周ポケット用プローブである。
  - d × 頸部が90°に曲がっており白歯部に用いやすくなっている。

文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 93-99

- 179 解答：a、d
- a ○
  - b × 歯面とチップの角度は60°である。
  - c × ポケット内での直接使用は気腫をつくる危険があり、チップ先端は切縁に向ける。
  - d ○ 歯面とチップは接触しないよう操作する。

文献：最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 181-183

- 180 解答：b、d
- a × グリセリンは湿潤剤である。
  - b ○
  - c × 水酸化アルミニウムは研磨剤の一種である。
  - d ○

文献：最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 128-130  
最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 175

## 歯科保健指導論

- 190 **解答**: a, d  
 業務の記録を文章や数字として残すことは、過去の情報をもとに新しく指導方法を立案するときの重要な資料となると同時に、時間の経過の中でどのように病態や口腔内の状況が変化してきたかを知るのに役立つ。
- a○ POSによる記録は、①基礎データ②問題リスト③初期計画④経過記録⑤要約の5部から構成される。このシステムの記録をSOAPという形式で記載する。S(自覚的症状) O(他覚的所見) A(感想、判断) P(方針)といった4つの項目に分けて記入する。
- b× チュートリアルとは、「個別指導」「個人指導」といった教育技法のことである。
- c× 社会性生活を営む人間の間に行われる知覚・感情・思考の伝達の技法である。
- d○ さまざまな情報を整理・分析しながら口腔保健管理の過程を簡潔に記載していくシステムで、フォーカス(焦点)を中心に経過記録を記載する。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科衛生学総論 39-40  
 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 71-74

- 191 **解答**: b, d  
 全体的にブラークコントロールは良好で、歯頸部歯肉の退縮による歯根露出と歯根面の摩耗がみられる。
- a× 擦過傷は歯肉にできた傷であるが写真ではみられない。
- b○
- c× クレフトは歯肉がV字状に切れ込んだ形態異常であるがそれはみられない。
- d○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 126-128

- 192 **解答**: a, d  
 患者の口腔内状況を把握するうえで、各種の検査や指数は有効である。
- a○ 未処置歯は 6 5 | 7 の3本である。
- b× 萌出歯 27本(診査する歯面は108面)、ブラーク付着部位は55面であるため、計算式は  $55/108 \times 100 = 0.509 \times 100 = 50.9\%$  となる。
- c× O'LearyのPCRはブラークの付着状況を評価して、ブラークコントロールの効果をあげるためのものである。この場合、隣接面のブラークの付着は下顎に多い。
- d○ 歯石の沈着はCIのスコア2もしくは3で評価する。診査結果では前歯部より臼歯部に2、3のスコアが多くみられる。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 102-105

- 193 **解答**: b  
 Calculus Index(歯石沈着状況指数)は、上下顎を6分割し頰側および舌側に分けて観察する。評価基準に従ってスコアを出し、各区分のうち最も高い数値を代表とする。
- CI=各区分のCalculus scoreの和/被検区分数  
 $= \text{上顎 } 12 + \text{下顎 } 9/6$   
 $= 3.5$
- a×
- b○
- c×
- d×

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 102-105

- 194 **解答**: b  
 寝たきり高齢者や経管栄養摂取障害者の場合、誤嚥性肺炎防止のためにも口腔粘膜や舌の清掃は重要な口腔ケアとなる。柄付きのスポンジブラシ、綿棒などに洗口液や薬液をつけて口腔粘膜の清掃に使用する。また、口腔の乾燥がみられる場合は保湿効果の高いヒアルロン酸が配合された保湿剤を併用するとよい。
- a○ スポンジブラシである。口腔粘膜だけでなくある程度の歯面の汚れも落とすことができるが、乾燥させたままで拭き取ると粘膜に傷がつくことがあるので、含嗽剤を十分に吸収させて行う。
- b× 義歯用ブラシである。舌ブラシと混同しやすいが、毛先が硬くブラシの面積が広いのが特徴である。義歯のカーブに適合しやすい形態を呈している。
- c○ 全周に軟毛が植毛されており、口腔内全体にやさしい刺激を与えることができる。介護者用に柄付きのものもある。
- d○ 舌ブラシである。舌の奥から手前方向に10回程度軽く擦り取るように使用する。長時間の使用や力を入れすぎると味蕾を傷つけてしまうので注意が必要である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 135-138  
 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 81-82

- 195 **解答**: b, c  
 歯磨剤には6種類の剤型がある(ペースト、液状、液体、フォーム状、粉製、潤製)。このうちフォーム状と液体のものには研磨剤が含まれていない。ブラッシングの強い人には研磨剤の配合されていないものを勧めるなど、使用目的や有害作用などを考慮して使用することが必要である。
- a× 洗口してから磨く。研磨剤は配合されていない。
- b○ 液体より粘性があり、歯ブラシにつけて磨く。研磨剤の配合は30%以下である。
- c○ ゲル状・ソフト状のもので歯ブラシにつけて磨く。研磨剤の配合は60%以下である。
- d× 泡状で歯ブラシにのせて磨く。研磨剤は配合されていない。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 128-129

- 196 **解答**: a  
 特定保健用食品とは、医学的あるいは栄養学的な根拠に基づいて、ヒトの健康にある種の効果が期待できると認められた食品に表示されている。また、ノンシュガーやシュガーレスは、単糖・二糖類の含有量が0.5%以内であるものに表示されている。
- 「歯を大切に」や「歯に安心」の表示には、はっきりとした基準はなく、お茶などから抽出したサンフェノンやサンウーロンがショ糖を甘味料の主体としている食品に添加されている。
- a○
- b×
- c×
- d×

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科予防処置論・歯科保健指導論 54-55

- 197 **解答**: a, d  
 心身症はその診断や治療時に心因的要素についての特別な配慮を要する病態のことをいう。歯科心身症は口腔とその周囲組織に心理的要因によって現れる病態の総称である。歯科心身症を病態により大別すると口腔領域の心身症、口腔への処置に対する神経症的反応、口腔領域の神経症、口腔領域の神経症的習癖などがあげられる。
- a○
- b× 歯科心身症を大別すると心身症・神経症的反応・神経症・神経症的習癖に分けられる。
- c× 患者の心身状態を十分認識して、受容・支持・保証の基本を原則として、患者との良好な関係のもとに治療にあたる。
- d○

**文献**: 新歯科衛生士教本 歯科保健指導 26

## 解答・解説

- 198 **解答**: a  
 チーム医療では、互いに専門性を尊重し、学びあうという姿勢が大切である。  
 a ○ 理学療法士: 基本的動作能力の回復を運動療法や電気刺激、温熱などを用いて行う。  
 b × 言語聴覚士: 音声・言語の障害に対する訓練を行う。  
 c × 作業療法士: 応用動作や社会適応能力の回復を作業を通じて行う。  
 d × 歯科技工士: 歯科技工物の制作や修理を行う。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 136-139

- 199 **解答**: c、d  
 運動機能の発達や知的発達に遅れがみられる小児は、摂食・嚥下機能の獲得に遅れや異常がみられることが多い。摂食・嚥下機能で、生来備わっている能力は哺乳にかかわる機能のみであり、ほかの機能は離乳期を通じて獲得する。  
 a × 捕食機能不全がある場合、こぼす、過開口、舌突出などがみられる。  
 b × 嚥下機能不全がある場合、むせ、逆嚥下、流涎などがみられる。  
 c ○  
 d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 131

- 200 **解答**: b、c  
 パーキンソン病の一般的特徴として、体のふるえ(振せん)、強直、姿勢反射の消失、動作緩慢などがあげられる。顔面や口腔の特徴としては、表情が固定される首振せんや嚥下困難、過剰な唾液分泌や流涎などがある。  
 a × パーキンソン病では、動作がゆっくりになる、前傾姿勢になり転びやすい、顔の表情が乏しくなる、といった症状を示す。これらの症状を無動または寡動という。  
 b ○  
 c ○  
 d × パーキンソン病は血液疾患でなく、脳の中脳にある黒質神経細胞が変性し、神経伝達物質であるドーパミンが減少することで、さまざまな症状を呈する病気である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 88-89

- 201 **解答**: b、d  
 保育所は児童福祉法により設立され、乳幼児が入所している。保育にあたっているのは保育士である。ここでは母親が仕事をしている場合が多いので、保護者を対象とした活動にはその点の配慮が必要である。  
 a × 3歳児の集団に染め出しを行うことは難しい。  
 b ○ 幼児が集中できるのは20分から長くても30分程度である。  
 c × 保育所は「保育に欠ける乳幼児または幼児を保育」する目的で設立されている。両親とも仕事をしていることがほとんどなので保護者全員の参加を求めることは無理がある。  
 d ○ 保育所での幼児の生活の流れを知り、時間設定など幼児、保育士に無理のない計画を立てる。

**文献**: 新歯科衛生士教本 歯科保健指導 77、83-86

- 202 **解答**: b、d  
 事業所の従業員の健康管理は、労働安全衛生法に基づいて衛生管理者が主管している。また、健康保険法に基づいて健康保険組合が行う事業もあるが、どちらも口腔保健教育活動の場である。  
 a × 健康診断に付設して行われることもある。  
 b ○ 衛生管理者が主管しているが、健康保険組合が行う事業もある。  
 c × 対象者が成人であるため、歯周病予防を中心とした指導が中心になる。  
 d ○ 成人期には全身疾患と口腔保健を関連づけた指導は有効である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保健生態学 第2版 294-298

## 解答・解説

- 203 **解答**: c  
 日常生活動作(ADL)は、障害者や高齢者の日常生活の自立度を判定する基準となる。移動・食事・排泄・入浴・着替え・整容・意思疎通の7つの指標がある。患者のADL評価について情報収集することは、セルフケアの行動目標の設定に役立つ。  
 a ○  
 b ○  
 c × BDR指標には歯磨きの項目がある。  
 d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 74-79

- 204 **解答**: b  
 高齢者の保健医療福祉に関する法律には、高齢者の医療の確保に関する法律、介護保険法、老人福祉法がある。施設サービスは、介護保険法と老人福祉法により行われる。  
 a × 有料老人ホームは、60歳以上で家庭環境、住宅環境などの理由により、居宅において生活することが困難な高齢者が低額な料金で入所し、生活する施設である。  
 b ○  
 c × 特別養護老人ホームは、65歳以上で、常時介護が必要で、在宅生活が困難な要介護者を対象とする施設である。  
 d × 介護療養型医療施設は、病状が安定している長期療養者であって、常時医学的管理が必要な要介護者を対象とする施設である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 26-31

## 歯科診療補助論

- 205 **解答**: b、d  
 医療行為などに伴って発生する廃棄物は適正な処理が必要である。人の健康または生活環境に被害を生じる恐れのある廃棄物は感染性廃棄物として政令で規定されている。また、具体的に感染性医療廃棄物の分類は血液などの液状のもの(赤色)、血液などが付着した固形物(固形状のもの)(橙色)、注射針などの鋭利なもの(黄色)と定められている。  
 a × 医療廃棄物であるが、非感染性の不燃性廃棄物として取り扱う。  
 b ○  
 c × 感染性廃棄物として取り扱うが、縫合針やメスのように鋭利なものは黄色の梱包容器へ分別する。  
 d ○

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 28-29

- 206 **解答**: b  
 グラスアイオノマーセメントは歯質や金属に対して接着性もあり、審美的にも優れているので、修復材、裏装材、合着材、窩溝充填材として使用されている。  
 a ○ 歯髄に対して比較的無刺激である。  
 b × 特に卑金属(酸化しやすい金属)に対して接着性を有する。  
 c ○ 初期硬化の進行途上で感水性がある。  
 d ○ フッ素イオンの溶出により二次う蝕抑制効果が期待できる。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 53-56

- 207 **解答**: a、b  
 弾性を示す印象材には寒天印象材、ゴム質印象材、アルジネート印象材がある。  
 a ○  
 b ○  
 c × モデリングコンパウンドは非弾性印象材である。  
 d × 酸化亜鉛ユージノールペーストは非弾性印象材である。

**文献**: 最新歯科衛生士教本 歯科診療補助論 74

## 解答・解説

208	<p><b>解答：b</b></p> <p>根管治療は手順に応じてさまざまな器具を使用するので術式と必要器材を知っておく必要がある。</p> <p>a ○ b × 髄室の開拓にはラウンドバーを用いる。 c ○ d ○</p> <p><b>文献：最新歯科衛生士教本 保存修復・歯内療法 146-161</b></p>
209	<p><b>解答：c</b></p> <p>歯周外科治療における歯科衛生士の役割は大きく、術前・術中・術後と把握し、携わることが必要である。各種手術法についてその必要性、目的、術式について理解する。</p> <p>a ○ 尖刃刀 (No. 11) である。 b ○ キュレットスケーラーである。 c × ヘーベルであり、抜歯に用いる器具である。 d ○ プローブである。</p> <p><b>文献：最新歯科衛生士教本 歯周治療 83-89、93-95、155</b> <b>最新歯科衛生士教本 歯周病学 第2版 105-107、184-185</b></p>
210	<p><b>解答：a</b></p> <p>補綴歯科治療では、歯の欠損部およびその周囲組織を機能的・審美的・形態的に回復するため、さまざまな検査を行う。</p> <p>a × チェックバイト法とは、前方咬合位あるいは側方咬合位にある上下顎の歯列あるいは咬合床の間に記録材を介在させ上下関係を記録する方法である。 b ○ ゴシックアーチ描記法とは、片顎の咬合床に描記針、対顎の咬合床に描記板を設置し運動経路を記録する方法である。 c ○ 咬合音検査にはデンタルサウンドチェッカーなどのME機器（医療用電子機器）を用いる。 d ○ 平行測定法には、平行測定器（ミラー式・スライド式）を用いる。</p> <p><b>文献：最新歯科衛生士教本 歯科補綴 144-147</b></p>
211	<p><b>解答：c、d</b></p> <p>印象用トレーは印象材を保持する機構により、有孔トレー、リムロックトレー、網トレーに分類される。また、寒天印象では冷却のために水が流れる特殊なトレーを必要とする。</p> <p>a × 有孔トレーはアルジネート印象材やゴム質印象材ヘビーボディタイプでの一次印象の際に用いる。 b × 水冷式トレーは寒天印象用である。 c ○ 網トレーは口腔内に合わせて変形させたり、ワックスなどを用いて修正し適合させる。 d ○</p> <p><b>文献：最新歯科衛生士教本 歯科補綴 120-124</b></p>
212	<p><b>解答：b、d</b></p> <p>カートリッジ式注射器は、局所麻酔薬が封入されたカートリッジとディスプレイ（使い捨て）注射針を使用する金属製の注射器である。プランジャー先端の形態によって吸引式と非吸引式のものがある。</p> <p>a × カートリッジ式注射器の注射針は使い捨てである。 b ○ c × カートリッジの装填はプランジャーを十分に引き注射器開窓部にゴム栓部分（後部）から挿入する。 d ○</p> <p><b>文献：最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 188-190</b></p>

## 解答・解説

213	<p><b>解答：b</b></p> <p>抜歯鉗子は上顎・下顎用としてそれぞれ前歯用、小臼歯用、大臼歯用、智歯用、残根用などの種類がある。嘴部と把柄部は上顎用はバイアングル、下顎用はモノアングルである。</p> <p>a × 下顎前歯用である。 b ○ c × 上下顎の残根用である。 d × 下顎大臼歯用である。</p> <p><b>文献：最新歯科衛生士教本 口腔外科・歯科麻酔 236-237</b></p>
214	<p><b>解答：a、b</b></p> <p>矯正バンドのセメント合着時には歯間分離器具、バンド、バンドブッシャー、バンドシーター、バンドコンタリングブライヤー、バンドリムービングブライヤー、歯面研磨用器材、デンタルフロス、バンド用セメント、余剰セメント除去用具（スケーラー）などの準備が必要である。</p> <p>a ○ 大臼歯バンドを圧入する器具である。 b ○ チューブやブラケットにセメントが流入しないよう利用する。 c × バンドにブラケット、チューブを溶接する器具である。 d × バンドを調整する際や、矯正治療終了時にバンドを除去するための器具である。</p> <p><b>文献：最新歯科衛生士教本 歯科矯正 131-132、139-141</b></p>
215	<p><b>解答：d</b></p> <p>小児への対応として行動療法（行動変容法）的対応法には tell show do (TSD) 法、モデリング法、トークンエコノミー法があり、抑制的対応法にはハンドオーバーマウス法、抑制具による方法、開口法がある。</p> <p>a ○ b ○ c ○ d × 術者の話を聞き入れようとしな小児に対して行う、抑制的対応法である。</p> <p><b>文献：最新歯科衛生士教本 小児歯科 102-105</b></p>
216	<p><b>解答：a、d</b></p> <p>乳歯冠の調整には金冠バサミ、ゴードンのブライヤー、ムシャーンのブライヤー、咬合面調整鉗子、咬合紙・咬合紙ホルダー、アブレーションポイント、シリコンポイントを用いる。</p> <p>a ○ 咬合時の乳歯冠の過高部を嘴ではさみ、押しつぶして低くして咬合面を調整する。 b × 乳歯冠の辺縁は金冠バサミで切っただけでは研磨が不十分であり、歯肉炎の原因となるためアブレーションポイントで滑沢に研磨する。 c × ゴードンのブライヤーで乳歯冠の頬側面、舌側面（口蓋側面）に自然歯の形状に合った豊隆を付与する。 d ○ 支台歯の歯冠高径に乳歯冠が適合するように、乳歯冠の歯頸部の余剰部分を切り取る。</p> <p><b>文献：最新歯科衛生士教本 歯科矯正 150-153</b> <b>最新歯科衛生士教本 歯科器械の知識と取り扱い 173-174</b> <b>最新歯科衛生士教本 小児歯科学 145-146</b></p>

## 解答・解説

217	<p><b>解答:</b> c</p> <p>高齢者の話を聞く場合は向かい合い、目の高さを同じにして表情を読み取りながら話を聞き、処置の内容の説明は、高齢者に理解しやすい言葉を用いてゆっくり行うことが大切である。</p> <p>a ○ b ○ c × 非言語的働きかけを多くする。笑顔は相手を安心させ、手を握る、肩に手を置くなどを行うことでよいコミュニケーションがとれることがある。 d ○</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 高齢者歯科 第2版 134</p>
218	<p><b>解答:</b> b、d</p> <p>障害者では適応行動がとれず、泣き叫んだり拒否したりすることが多い。このような患者に対し、歯科治療が受け入れられるようにトレーニングを行う。</p> <p>a × 基本的には同じスタッフが同じ場所、同じ器具、一定の処置順序で行うなど、与える刺激をパターン化し強度、時間、頻度を徐々に増やしていくようにする。 b ○ 目標を達成できたときやうまく我慢ができた際にはタイミングよくほめることが重要である。 c × 言葉での理解が不十分であっても、気持ちが伝わるように働きかけることが重要である。 d ○ 不安や恐怖感が強い場合は日常的に見慣れていたたり、聞き慣れている、やり慣れていることから導入すると適応することができる。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 障害者歯科 第2版 55-56</p>
219	<p><b>解答:</b> a、d</p> <p>口内法撮影において患者の頭部を正しく固定することが、撮影時の角度を正確にするとともに撮影を容易にし、エックス線撮影を成功に導く。</p> <p>a ○ b × 後頭結節の下部にヘッドレストを位置づける。 c × フランクフルト平面は口外法撮影で床面と平行にする場合がある。 d ○</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 歯科放射線 64-65</p>
220	<p><b>解答:</b> a</p> <p>自動体外式除細動器 (AED: Automated External Defibrillator) とは、心臓がけいれんし、血液を流すポンプ機能を失った状態 (心室細動) になった心臓に対し、電気ショックを与え正常なリズムに戻すための医療機器である。平成16年7月より医療従事者ではない一般市民でも使用できるようになり、人が多く集まる場所を中心に設置されている。緊急の場合に備え、心肺蘇生法の手順とともに使用上の注意も熟知しなければならない。</p> <p>a ○ 医師、看護師、救急救命士以外でも取り扱うことができる。 b × ペースメーカー埋込み部分から3cm程度離れたところに電極パットを貼って使用する。 c × 電極パットを貼りつけた時点で傷病者から離れなければならない。 d × 成人に対しては小児用パットを使用してはならない。成人の電気ショックに必要な通電エネルギーが得られず、除細動効率が低下する可能性がある。</p> <p><b>文献:</b> 最新歯科衛生士教本 口腔外科学・歯科麻酔学 215</p>

科目別問題番号一覧表

	問題数	A	B
解剖学	7	問 1~4	問 111~113
生化学	3	問 5	問 114~115
生理学	7	問 6~9	問 116~118
病理学	5	問 10~11	問 119~121
微生物学	5	問 12~14	問 122~123
薬理学	5	問 15~16	問 124~126
口腔衛生学	15	問 17~24	問 127~133
衛生学・公衆衛生学	16	問 25~32	問 134~141
栄養学	5	問 33~34	問 142~144
歯科衛生士概論	2	問 35	問 145
歯科臨床の基礎	3	問 36	問 146~147
保存修復学	5	問 37~39	問 148~149
歯内療法学	5	問 40~41	問 150~152
歯周治療学	5	問 42~44	問 153~154
歯科補綴学	7	問 45~47	問 155~158
口腔外科学	7	問 48~51	問 159~161
歯科矯正学	7	問 52~54	問 162~165
小児歯科学	7	問 55~58	問 166~168
高齢者歯科学	5	問 59~60	問 169~171
障害者歯科学	5	問 61~63	問 172~173
歯科予防処置	32	問 64~79	問 174~189
歯科保健指導	30	問 80~94	問 190~204
歯科診療補助	32	問 95~110	問 205~220
計	220		

(出題数は当社予測による)